

2021 年度 研究所事業報告書

| | |
|------|--------------|
| 研究所名 | アート・リサーチセンター |
|------|--------------|

I. 研究成果の概要（公開項目） ※1ページ以内にまとめること

本欄には、研究所・センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、研究所総合計画(5 ヵ年)および 2019 年度重点プロジェクト申請調書に記載した内容に照らし、項目立てなどをおこなうできるだけわかりやすく記述してください。なお、2019 年度に採択を受けた研究所重点プロジェクトの実績報告は、書式 B に記述のうえ提出してください。

アート・リサーチセンター(以下、ARC)は、今後の活動の柱として、以下に述べる 3 プロジェクトを選定し、2021 年度も引き続き、集中的に取り組んだ。この 3 プロジェクトは、重点化する研究分野やプロジェクトとして研究所総合計画(5 ヵ年)に挙げたものに該当し、それぞれが学際的・有機的に連携し、本センターの研究活動を発展させつつ国際化を推進した。すなわち、GCOE プログラム(2007-2011 年度)の研究蓄積や体制を基盤とした文学研究科「文化情報学専修」における若手教育の実践や、ARC が獲得した文部科学省共同利用共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」等の運営を通じて、この 3 プロジェクトを異分野連携・融合型研究の核として研究所として団結して推進することで様々な共同型研究活動を支える基盤となり、かつ次世代研究組織の根幹となる環境を用意するものである。コロナ禍の影響による日本社会のデジタルツール活用への注目もあり、地域貢献につながった研究成果や、派遣型活動が停止した代わりにデータ蓄積や既存システムの改良に加え新システムの構築に取り組んだ。また、若手研究者育成では「文化情報学専修」との強力な連携プログラムによる研究力向上や、ワークショップ等の実施に努め、本学の教育研究拠点機能を充実・発展させた。

プロジェクト No.1: 文化資源デジタル情報循環型知的生産環境の構築:ARC 所蔵文化資源等を素材とした実践

<達成できた点>

1, 国際共同利用共同研究拠点に提供するツールとしての「ARC リサーチ・スペース」の本格稼働。 2, 本学研究所書庫内で眠っている ARC 所蔵の書籍・冊子類のデジタル化とオンライン公開 3, 林コレクション・オンライン公開の完成 4, 翻刻電子テキストアーカイブシステムの活用促進のためのワークショップ、アーカイブモデルの確立 5, 国内の個人コレクションのデジタル化とデータベース登載

<達成できなかった点>

1, 酒呑童子絵巻プロジェクトの継続とオンライン展示の開始 2, 海外アーカイブは、2021 年度中にはコロナ禍の影響により、実現できず、若手研究者を巻き込んだ、従来の国際展開は、停滞したままとなった。

プロジェクト No.2: 有形・無形文化財のデジタルドキュメンテーションと利活用のための先端技術の開発

1.ボロボドゥール寺院の隠された基壇のレリーフを古写真から 3 次元復元する技術に進展があり、その論文が、ISPRS Journal 誌 (インパクトファクタ 8.979)に採択。また同寺院の外部、隠された基壇、地下構造の3つの部分の 3 次元モデルを構築・統合するプロジェクトに関して、上記成果を取り込み改良。この成果は、Remote Sensing 誌 (インパクトファクタ 4.848)で論文採択。 2. 甲冑など、不明瞭な 3 次元エッジを多数含む形状に関して、エッジ部分を強調可視化する新手法を、深層学習技術を用いて開発した。この成果は、Remote Sensing 誌 (インパクトファクタ 4.848)で採択 3. バーチャル京都プロジェクトの展開 (1) 矢守家寄贈の約 1200 枚の絵葉書デジタル化し、ARC DB と ArcGIS Online で公開。(2) 京都三大祭の絵葉書を約 250 デジタル化。(3) 京都ニュースの映像の効果的な Web 公開のための準備。(4) 京都アスニーと連携し、「平安京跡データベース」を ArcGIS Online で構築し公開。(5) 京都市指定有形文化財の長江家住宅にて、所蔵品のデジタル・アーカイブや収蔵状況の改善。(6) 言語横断型の単語分散表現に日本語特有の情報を用いることで分散表現のマッピング精度を向上する手法について、国際ジャーナル International Journal of Asian Language Processing に論文が採択。(7) 古典籍の蔵書印の文字認識および検索支援技術。単一事例表現学習に基づく古代文字認識手法研究が国際ジャーナル Data に論文が採択。(8) 経年劣化が進む祇園囃子を録音した昭和初期のレコードに対して電子顕微鏡などを活用した新しい波形抽出手法を試み文化財の保全と高精度なデジタルアーカイブの両立。(9) 浮世絵画像間の類似度及び浮世絵の作品記述を収集する2つのライブ配信型ヒューマンベーストコンピューティングゲーム (LS-GWAP) を高度化に成功。IEEE Access 誌 (h5 指標 164) で採択

プロジェクト No.3: デジタル・アーカイブによる価値創造と社会的応用

仮想世界群に関して達成できた点は以下である。①昨年度に引き続き、日本に特有の成立を見たテレビゲームの成り立ちと、その子ども、家庭における受容のプロセスを体験的に感得するための展示空間「ファミコンとその時代展～1986 年冬」を継続的に運用した。②新規の取り組みとして、デジタルゲームの音楽をテーマとしたオンライン仮想展示「Ludo-Musica II～ゲームのための音楽／音楽のためのゲーム～」を文化庁および本学ゲーム研究センターと共同で企画実施し、仮想空間展示に固有性のある展示技法および知財処理に関わる知見を得た。また、ARC における研究および文化資源化の実践との連携に関して達成できた点は以下である。①映画音響に関する第一級の史料である「林士太郎・基継 映画音響コレクション」の構築に取り組み、音響データのデジタル化に向けた資料整理に着手した。②昨年に引き続き「京都市政ニュース」の映像資料についてのデジタル化(テレシネ)を進め、公開に向けた準備を進捗させた。他方、達成できなかった事としては、「林士太郎・基継 映画音響コレクション」において、資料の搬入と保管、仕分け整理に時間がかかり、現段階においてまだデータ化のための実作業に到達できていない点である。

II. 拠点構成員の一覧 (公開項目) ※ページ数の制限は無し

本欄には、2021年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員協力研究員等の構成員を全て記載してください。区分が重複する場合は二重に記入せず、役割が上にあるものから優先し全て記載してください。また、若手研究者の条件に当てはまる場合は、若手研究者欄に記載してください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③大学院生、④日本学術振興会特別研究員(PD・RPD)

| 役割 | 氏名 | 所属 | 職位 | |
|-----------------------|-------------------------|------------------------|----------------------|----------|
| 研究所長・センター長 | 細井 浩一 | 映像学部 | 教授 | |
| 運営委員 | 赤間 亮 | 文学部 | 教授 | |
| | 矢野 桂司 | 文学部 | 教授 | |
| | 木立 雅朗 | 文学部 | 教授 | |
| | 西林 孝浩 | 文学部 | 教授 | |
| | 竹中 悠美 | 先端総合学術研究科 | 教授 | |
| | 前田 亮 | 情報理工学部 | 教授 | |
| | 田中 覚 | 情報理工学部 | 教授 | |
| | 西浦 敬信 | 情報理工学部 | 教授 | |
| | THAWONMAS Ruck | 情報理工学部 | 教授 | |
| | 鈴木 桂子 | 衣笠総合研究機構 | 特別招聘研究教員(教授) | |
| | 田中 弘美 | 情報理工学部 | 特命教員(教授) | |
| | 金子 貴昭 | 衣笠総合研究機構 | 特別招聘研究教員(准教授) | |
| 学内教員 (専任教員、研究系教員等) | 稲葉 光行 | 政策科学部 | 教授 | |
| | 奥出 成希 | 映像学部 | 教授 | |
| | 中村 彰憲 | 映像学部 | 教授 | |
| | 三須 祐介 | 文学部 | 教授 | |
| | 川越 恭二 | 情報理工学部 | 特任教授 | |
| | 斎藤 進也 | 映像学部 | 准教授 | |
| | 古川 耕平 | 映像学部 | 准教授 | |
| | 李 亮 | 情報理工学部 | 准教授 | |
| | Martin Roth | 先端総合学術研究科 | 准教授(任期制) | |
| | 河角(赤石)直美 | 文学部 | 准教授 | |
| | 井上 明人 | 映像学部 | 講師(任期制) | |
| | 長谷川 恭子 | 情報理工学部 | 講師(任期制) | |
| | 東野 陸 | 衣笠総合研究機構 | 研究教員(助教) | |
| | 佐藤 弘隆 | 文学部京都学専攻 | 特任助教 | |
| | SONG Yuting | 情報理工学部 | 特任助教 | |
| 学内の若手研究者 | ① 専門研究員 研究員 初任研究員 | BATJARGAL Biligsaikhan | 衣笠総合研究機構 | 専門研究員 |
| | | PALIYAWAN Pujana | 総合科学技術研究機構 | 専門研究員 |
| | | 山路 正憲 | | 衣笠総合研究機構 |
| | | シン ジュヒョン | 先端総合学術研究科 | 初任研究員 |
| | ② リサーチアシスタント | CAI Chengkai | 立命館グローバル・イノベーション研究機構 | 博士課程後期課程 |
| | | WANG Jiayun | 総合科学技術研究機構 | 博士課程後期課程 |

| | | | |
|-----------------------------------|-------------------------|---------------|----------|
| ③ 大学院生 | PAN Jiao | 立命館アジア・日本研究機構 | 博士課程後期課程 |
| | LI Weite | 総合科学技術研究機構 | 博士課程後期課程 |
| | ZHANG Yutao | 情報理工学研究科 | 博士課程後期課程 |
| | Li Kangying | 情報理工学研究科 | 博士課程後期課程 |
| | 毛利 仁美 | 文学研究科 | 博士課程後期課程 |
| | GENG Yuting | 情報理工学研究科 | 博士課程後期課程 |
| | 青井 大門 | アジア・日本研究所 | 博士課程後期課程 |
| | 宮田 悠史 | 文学研究科 | 博士課程後期課程 |
| | 安宅 望 | 文学研究科 | 博士課程後期課程 |
| | Chen Peng | 情報理工学研究科 | 博士課程後期課程 |
| | Xu Ting | 先端総合学術研究科 | 博士課程後期課程 |
| | WEI Zhenao | 情報理工学研究科 | 博士課程後期課程 |
| | 印牧 真明 | 文学研究科 | 博士課程後期課程 |
| | TIAN Yubo | 文学研究科 | 博士課程後期課程 |
| | KHALTARKHUU Garmaabazar | 情報理工学研究科 | 博士課程後期課程 |
| | 中井 陽一 | 文学研究科 | 博士課程前期課程 |
| | ALBERTUS Agung | 情報理工学研究科 | 博士課程前期課程 |
| | 吉田 敦史 | 情報理工学研究科 | 博士課程前期課程 |
| | 石 凌軒 | 映像研究科 | 博士課程前期課程 |
| | SHEN Jia | 映像研究科 | 博士課程前期課程 |
| | LI Zhengyu | 政策科学研究科 | 博士課程前期課程 |
| | 田中 俊太郎 | 先端総合学術研究科 | 博士課程前期課程 |
| | 宮本 敬太 | 先端総合学術研究科 | 博士課程前期課程 |
| | 辻 俊成 | 文学研究科 | 博士課程前期課程 |
| | 戸塚 史織 | 文学研究科 | 博士課程前期課程 |
| | 平野 理紗子 | 文学研究科 | 博士課程前期課程 |
| | 川端 恵大 | 情報理工学研究科 | 博士課程前期課程 |
| | 東雲 陽美 | 情報理工学研究科 | 博士課程前期課程 |
| | 芳澤 翼 | 情報理工学研究科 | 博士課程前期課程 |
| 岡田 陸 | 映像研究科 | 博士課程前期課程 | |
| 伊藤 聡子 | 情報理工学研究科 | 博士課程前期課程 | |
| JIA Hao | 情報理工学研究科 | 博士課程前期課程 | |
| 森 直樹 | 政策科学研究科 | 博士課程前期課程 | |
| 堀池 理生 | 文学研究科 | 博士課程前期課程 | |
| 山本 睦月 | 文学研究科 | 博士課程前期課程 | |
| ④ 日本学術振興会特別研究員(PD・RPD) | Mohamed Soliman | 衣笠総合研究機構 | 外国人特別研究員 |
| その他の学内者 (補助研究員、非常勤講師、研究生、研修生等) | 尾鼻 崇 | 映像学部 | 授業担当講師 |
| | 福田 一史 | 先端総合学術研究科 | 授業担当講師 |
| | 津田 光弘 | 衣笠総合研究機構 | 補助研究員 |
| | 青山 いずみ | 文学研究科 | 研修生 |
| | 岩切 友里子 | - | - |

| | | | |
|-------------|-----------------------------|--------------------------|---------------------|
| | 岩田 秀行 | 跡見学園女子大学文学部 | 名誉教授 |
| | 大西 秀紀 | 京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター | 客員研究員 |
| | 岡本 隆明 | 京都府立京都学・歴彩館 | 資料課担当 |
| | 亀田 和子 | ハワイ・パシフィック大学人文科学部美術史学 | 講師 |
| | 加茂 瑞穂 | 武庫川女子大学附属総合ミュージアム | 嘱託研究員 |
| | 河原 大 | 株式会社キャドセンター | 社員 |
| | 川崎 寧生 | ゲーム研究センター | 客員研究員 |
| | 倉橋 正恵 | 同支社女子大学 | 嘱託講師 |
| | 竹内 千代子 | - | - |
| | 中村 恵美 | - | - |
| | 廣瀬 千紗子 | 同志社女子大学 | 名誉教授 |
| | 細井 尚子 | 立教大学異文化コミュニケーション学部 | 教授 |
| | 前崎 信也 | 京都女子大学家政学部 | 准教授 |
| | 松葉 涼子 | セインズベリー日本藝術研究所 | 講師 |
| | 丸川 雄三 | 国立民族学博物館人類基礎理論研究部 | 准教授 |
| | 矢野 明子 | 大英博物館アジア部 | 三菱商事キュレーター |
| | BINCSIK Monika | メトロポリタン美術館 | アソシエイト学芸員 |
| | HAFT Alfred | 大英博物館 | 学芸員 |
| | HONCOOPOVÁ, Helena | アングロアメリカン大学 | 講師 |
| | HUBER Brigitte | Koller Auction | 助手 |
| | MARCEAU Lawrence E. | 国際日本文化研究センター | 連携共同研究員 |
| | PELLECCHIA Diego | 京都産業大学 文化学部 | 准教授 |
| | RESIG John | カーンアカデミー | ソフトウェア構築担当 |
| | RUPERTI Bonaventura | ヴェネツィア・カフオスカリ大学 | 教授 |
| | TINIOS Ellis | リーズ大学 歴史学部 | 名誉講師 |
| | VESCO Silvia | ヴェネツィア・カフオスカリ大学 | 教授 |
| | 今井 将樹 | 大日本印刷株式会社 | マーケティング部リーダー |
| | Annegret Bergmann | 東京大学人文社会系研究科 | 特任准教授 |
| | Timothy Thorburn CLARK | 大英博物館 | 名誉研究員 |
| | 梅田 勇輝 | (株) トーンアップ | 社員 |
| | 曾田 祐司 | (株) モールスリー | 社員 |
| その他の学外者 | 塚本 章宏 | 徳島大学大学院社会産業理工学研究部 | 准教授 |
| | 山口 欧志 | 国立文化財機構奈良文化財研究所 | 専任研究員 |
| | Henry Lowood | Stanford University | 大学図書館学芸員 |
| | Jin Ha Lee | University of Washington | Associate Professor |
| | 久永 一郎 | 大日本印刷マーケティング本部 | 室長 |
| 研究所・センター構成員 | 計 121 名 (うち学内の若手研究者 計 40 名) | | |

Ⅲ. 研究業績（公開項目） ※ページ数の制限は無し ※to be published,の状態の業績は記載しないで下さい。

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2022年3月31日時点)
また、書式Bの研究業績欄との二重記載をお願いいたします。

| 1. 著書 | | | | | | | |
|-------|-------------|--|---------|----------|-----------------------------|---|--|
| No. | 氏名 | 著書・論文等の名称 | 単著・共著の別 | 発行年月 | 発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称 | その他編者・著者名 | 担当頁数 |
| 1 | 矢野桂司 | GIS: 地理情報システム(やさしく知りたい先端科学シリーズ8) | 単著 | 2021年8月 | 創元社 | | |
| 2 | 矢野桂司 | 経済・交通事象を対象とする主題図 | 単著 | 2021年11月 | 朝倉書店地図の事典 | | 118-119 |
| 3 | 西浦敬信 | VR/AR技術における感覚の提示、拡張技術と最新応用事例 | 共著 | 2021年6月 | 技術情報協会 | | |
| 4 | 金子貴昭 | 西川祐信『正徳ひな形』—影印・注釈・研究— | 共著 | 2022年2月 | 臨川書店 | 石上阿希(編)・加茂瑞穂(編) Michelle Kuhn 倉橋政恵・鈴木桂子 高須奈都子・竹村さわ子・山本真紗子 | pp.60-66、131-136、187-189、192-194 231-236、260-263、302-307、344-350 |
| 5 | 佐藤弘隆 | 戦後京都の「色」はアメリカにあった!: カラー写真が描く《オキュパイド・ジャパン》とその後 | 共著 | 2021年7月 | 京都府京都文化博物館 | 植田憲司 衣川太一、佐藤洋一編 | 118 (祇園祭) |
| 6 | 井上明人 | 環境問題を(見える化)する』 | 共著 | 2022年3月 | 昭和堂 | 近藤 康久、ハイン マレー | PP. 141-156 |
| 7 | 中村彰憲 | 2020年 中国ゲーム産業の現況 | 共著 | 2021年6月 | 角川アスキー総合研究所ファミ通ゲーム白書2021 | 北阪 幹生 | 334-339 |
| 8 | 中村彰憲 | 2020年 新興国ゲーム産業の現況 | 単著 | 2021年6月 | 角川アスキー総合研究所ファミ通ゲーム白書2021 | | 342-347 |
| 9 | 中村彰憲 | 第6章海外動向2 中国 | 単著 | 2021年9月 | デジタルコンテンツ協会 デジタルコンテンツ白書2021 | | 144-149 |
| 10 | Roth Martin | Japan's Media Culture between Local and Global: Current Perspectives on Regionality, Technology and Politics | 共著 | 2021年12月 | CrossAsia-eBooks | Yoshida Hiroshi, Picard Martin | 編集全般、Introduction (pp. 1-7) |
| 11 | Roth Martin | Japan's Media Culture between Local and Global: Current Perspectives on Regionality, Technology and Politics | 共著 | 2021年12月 | CrossAsia-eBooks | Mühleder, Peter | 章: Playing out of bounds? Cross-platform community practice in and beyond Dark Souls (PP. 315~335) |
| 12 | 稲葉光行 | 混合研究法の手引き——トレジャーハントで学ぶ研究デザインから論文の書き方まで | 共著 | 2014年4月 | 遠見書房 | マイク・フェターズ, 抱井尚子, 河村洋子, 井上真智子, 尾島俊之, 本原理子, 榊原麗, エレン・ルビンスタイン | 39-52 |
| 13 | 西林孝浩 | 『ソグドから中国へ—シルクロード史の研究—』 | 共訳書 | 2021年10月 | 汲古書院 | 榮新江著(西村陽子、陳賡、森部豊、丁義忠、会田大輔、田衛衛、高田時雄、村井恭子、植松知博、孫躍新、周培彦、清水はるか、関尾史郎、稲垣肇、張銘心、広中智之との共訳) | 343~370頁を単独訳 |

| | | | | | | | |
|----|------------------------|---|-----|----------|---|---------------|---------|
| 14 | 三須祐介 | 『短篇小説集 プールサイド』台湾文学ブックカフェ(3) | 単訳 | 2022年2月 | 作品社 | 呉佩珍、白水紀子、山口守編 | |
| 15 | 三須祐介 | 「戦争と「同志」叙事—大島渚『戦場のメリークリスマス』から明鏡屏『再見、東京』へ」(『旅する日本語—方法としての外地巡礼』) | 共著 | 2022年3月 | 松籟社 | 中川成美・西成彦(編著) | 277-304 |
| 16 | Timothy Thorburn CLARK | Hokusai: The Great Picture Book of Everything | 単著 | 2021年9月 | British Museum Press | | |
| 17 | 細井尚子 | 「移行する大衆演劇〜人々の記憶の現像と制度の再建〜」論文集 | 共著 | 2022年3月 | 立教大学リポジトリ | 輪島裕介、徐亜湘ほか16名 | 445-464 |
| 18 | 森岡秀人 | 展望 『飛鳥』集落と古代令制下地方機構をめぐる課題 | 共著 | 2021年5月 | 『「古墳時代から飛鳥時代へ—集落遺跡の分析からみた社会変化—』古代学研究会 | 鈴木一議編 | 383-392 |
| 19 | 森岡秀人 | 中世石の土木史にみる矢穴技法の展開及び技術史上の基盤—登場の契機・時期、その変遷と普及をめぐる問題軸— | 共著 | 2022年3月 | 『福井・勝山 石がたり 中世・近世のまちづくり、そして現代 中世・近世のまちづくり調査研究報告書』福井・勝山日本遺産活用推進協議会 独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所 | | 471-484 |
| 20 | 森岡秀人 | 第4章 田能遺跡と近畿の弥生社会—図録のまとめにかえて— | 共著 | 2022年3月 | 『田能資料館図録 TANO AMAGASAKI CITY MUSEUM OF HISTORY』尼崎市教育委員会・尼崎市立歴史博物館田能資料館 | | 71-73 |
| 21 | 山口記弘 | 時代劇ヒーローキャラクターの芸能史 | 共著 | 2021年11月 | 株式会社KADOKAWA | 荒木浩 他 | 257-279 |
| 22 | 山口記弘 | 日本映画界・永田雅一の十五年戦争 | 共著 | 2022年2月 | 株式会社KADOKAWA | 劉建輝 他 | 77-112 |
| 23 | 加茂瑞穂 | 西川祐信『正徳ひな形』—影印・注釈・研究— | 共編著 | 2022年2月 | 臨川書店 | 石上阿希 | 全464ページ |
| 24 | 亀田和子 | “An Iconology of the Orchid Pavilion Gathering: Image, Text, and Communities in Tokugawa-Era Japan” | 単著 | 2021年9月 | Routledge | | 730-746 |

| 2. 論文 | | | | | | | | |
|-------|-----|---|---------|---------|--|--|-----------|------|
| No. | 氏名 | 著書・論文等の名称 | 単著・共著の別 | 発行年月 | 発行所、発表雑誌、巻・号数 | その他編者・著者名 | 担当頁数 | 査読有無 |
| 1 | 田中覚 | ICTとビッグデータの時代における文化財の保存・活用への挑戦 | 単著 | 2021年4月 | 第一法規月刊文化財692 | | 4-7 | 有 |
| 2 | 田中覚 | Application of Multiple Iso-Surface Rendering to Improvement of Perceived Depth in Transparent Stereoscopic Visualization | 共著 | 2021年5月 | Japan Society for Simulation Technology Journal of Advanced Simulation in Science and Engineering 8(1) | Daimon Aoi, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Yuichi Sakano, | 128-142 | 有 |
| 3 | 田中覚 | Deep learning-based point upsampling for edge enhancement of 3D-scanned data and Its application to transparent | 共著 | 2021年6月 | MDPI Remote Sensing 13(13) | Weite Li, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Akihiro Tsukamoto, | 2526-2551 | 有 |

| | | | | | | | | |
|----|------|--|----|----------|---|---|----------|---|
| | | visualization | | | | | | |
| 4 | 田中覚 | 3次元計測データの可視化を活用した箱庭療法支援 | 共著 | 2021年6月 | 可視化情報学会可視化情報学会誌 41(161) | 長谷川恭子, 李亮 | 42-46 | 有 |
| 5 | 田中覚 | A digital archive of Borobudur based on 3D point clouds | 共著 | 2021年7月 | Copernicus Publications The International Archives 6of the Photogrammetry, Remote Sensing and Spatial Information Sciences (Proc XXIV ISPRS Congress) XLIII-B2-2021 | M. Kawato, L. Li, K. Hasegawa, M. Adachi, H. Yamaguchi, F. I. Thufail, S. Riyanto, Brahmantara, | | 有 |
| 6 | 田中覚 | Integrated high-definition visualization of digital archives for Borobudur Temple | 共著 | 2021年12月 | MDPIRemote Sensing 13(24) | Jiao Pan, Liang Li, Hiroshi Yamaguchi, Kyoko Hasegawa, Fadjar I. Thufail, Brahmantara | 5024 | 有 |
| 7 | 田中覚 | ボロボドゥール寺院壁面レリーフの3次元復元のための学習データセット作成支援法 | 共著 | 2021年12月 | 情報処理学会じんもんこん 2021 論文集 2021-12-04 | Ji Shenyu, Li Liang, 長谷川 恭子 | 56-63 | 有 |
| 8 | 田中覚 | 鎧兜の3次元計測データに基づくデジタルコンテンツの作成 | 共著 | 2021年12月 | 情報処理学会じんもんこん 2021 論文集 2021-12-04 | ZHANG Zian, Li Liang, 長谷川 恭子 | 44-49 | 有 |
| 9 | 田中覚 | 3D reconstruction of Borobudur reliefs from 2D monocular photographs based on soft-edge enhanced deep learning | 共著 | 2022年1月 | ElsevierISPRS Journal of Photogrammetry and Remote Sensing 183 | Jiao Pan, Liang Li, Hiroshi Yamaguchi, Kyoko Hasegawa, Fadjar I. Thufail, Brahmantara | 439-450 | 有 |
| 10 | 矢野桂司 | 防災とGISをつなげる | 共著 | 2021年5月 | 岩波書店科学 91(5) | 松多信尚 | 449-453 | 有 |
| 11 | 矢野桂司 | デジタル・アーカイブの新たな展開:「祇園祭デジタル・ミュージアム2020」の事例 | 共著 | 2021年5月 | 第一法規文化財 2021(5) | 佐藤弘隆 | 24-26 | 有 |
| 12 | 矢野桂司 | 2005年以降の日本学術会議における地理教育と地図/GIS教育の展開 | 単著 | 2021年5月 | エストレーラ 326 | | | 有 |
| 13 | 矢野桂司 | 教理・計量地理学の過去、現在、未来:計量革命、GIS革命、空間ビッグデータ革命 | 単著 | 2021年9月 | 日本建築学会建築討論 | | | 有 |
| 14 | 前田亮 | Learning Japanese-English Bilingual Word Embeddings by Using Language Specificity | 共著 | 2021年5月 | World Scientific, International Journal of Asian Language Processing, 30 卷3号 | Yuting Song Biligsaikhan Batjargal, | 14 pages | 有 |
| 15 | 前田亮 | アニメの部分会話の難易度の推定による日本語のリスニング練習支援 | 共著 | 2021年6月 | 芸術科学会, 芸術科学会論文誌, 20 卷2号 | unje Shan, 西原 陽子, 山西良典 | 108-119 | 有 |
| 16 | 前田亮 | Dataset Augmentation for Grammatical Error Correction Using Markov Chain | 共著 | 2021年7月 | Proceedings of the World Congress on Engineering (WCE2021) | Ryoga Nagai | 97-100 | 有 |
| 17 | 前田亮 | Joint Extraction of Clinical Entities and Relations Using Multi-head Selection Method | 共著 | 2021年12月 | Proceedings of the 2021 International Conference on Asian Language Processing (IALP 2021) | Xintao Fang, Yuting Song | 99-104 | 有 |
| 18 | 前田亮 | Sentence Pair Augmentation Approach for Grammatical Error Correction | 共著 | 2022年3月 | Proceedings of the 1st International Conference on Computational | Ryoga Nagai | 9 pages | 有 |

| | | | | | | | | |
|----|----------------|---|----|----------|---|--|---|---|
| | | | | | Intelligence for Engineering and Management Applications (CIEMA 2022) | | | |
| 19 | 前田亮 | A Prototypical Network-Based Approach for Low-Resource Font Typeface Feature Extraction and Utilization | 共著 | 2021年12月 | MDPI, Data, 6卷12号 | Kangying Li, Biligsaikhan Batjargal, | 20 pages | 有 |
| 20 | 西浦敬信 | 3-D Sound Image Reproduction Method Based on Spherical Harmonic Expansion for 22.2 Multichannel Audio | 共著 | 2022年2月 | Applied Sciences, vol. 12, no. 4 | Kenta IWAI, Hiromu Suzuki | https://doi.org/10.3390/app12041994 | 有 |
| 21 | THAWONMAS Ruck | Adaptation of Search Generations in Extreme Learning Assisted MOEA/D Based on Estimation Accuracy of Surrogate Model | 共著 | 2021年6月 | Proc. of 2021 IEEE Congress on Evolutionary Computation (CEC 2021) | Koki Tsujino, Tomohiro Harada | 1519-1526 | 有 |
| 22 | THAWONMAS Ruck | Fighting-Game Gameplay Generation Using Highlight Cues | 共著 | 2021年7月 | IEEE Transactions on Games | Ryota Ishii, Keita Fujimaki | | 有 |
| 23 | THAWONMAS Ruck | Parallel Differential Evolution Applied to Interleaving Generation with Precedence Evaluation of Tentative Solutions | 共著 | 2021年7月 | Proc. of the Genetic and Evolutionary Computation Conference (GECCO 2021) | Hayato Noguchi, Tomohiro Harada | 706-713 | 有 |
| 24 | THAWONMAS Ruck | Improving CPU Utilization of Interleaving Generation Parallel Evolutionary Algorithm with Precedence Evaluation of Tentative Solutions and Their Suspension | 共著 | 2021年9月 | SICE Journal of Control, Measurement, and System Integration 14(1) | Hayato Noguchi, Akari Sonoda, Tomohiro Harada | 242-256 | 有 |
| 25 | THAWONMAS Ruck | An Aerial Cinematographer AI for Settlements in Minecraft-Toward Their Crowd Assessment | 共著 | 2021年10月 | Proc. of the 10th Global Conference on Consumer Electronics (GCCE) | Hao Jia, Pujana Paliyawan | 853-854 | 有 |
| 26 | THAWONMAS Ruck | Maze Game with Singing Interface to Fight Dementia | 共著 | 2021年10月 | Proc. of the 10th Global Conference on Consumer Electronics (GCCE) | Jaturawit Chaiwong, Pujana Paliyawan, Kingkarn Sookhanaphibarn, Worawat Choensawat | 847-848 | 有 |
| 27 | THAWONMAS Ruck | An Audience Participation Game with Difficulty Adjustment and Rap-Style Commentary Based on Audience Inputs | 共著 | 2021年10月 | Proc. of the 10th Global Conference on Consumer Electronics (GCCE) | Yiming Zhang, Albertus Agung, Pujana Paliyawan | 845-846 | 有 |
| 28 | THAWONMAS Ruck | Cuteness in JUSTIN: adding a virtual moderator for entertaining user in an audience participation game | 共著 | 2021年10月 | Proc. of the 10th Global Conference on Consumer Electronics (GCCE) | Roman Savchyn, Pujana Paliyawan | 843-844 | 有 |
| 29 | THAWONMAS Ruck | Toward a PCG-Driven 3D Game for Preclinical Detection of Dementia | 共著 | 2021年10月 | Proc. of the 10th Global Conference on Consumer Electronics (GCCE) | Tannop Sangvanloy, Pujana Paliyawan, Kingkarn Sookhanaphibarn, Worawat Choensawat | 711-712 | 有 |
| 30 | THAWONMAS Ruck | JUSTIN Sings: Adding a Musical-Style Narration Generator to an APGWAP That Collects Ukiyo-e Artworks Descriptions | 共著 | 2021年10月 | Proc. of the 10th Global Conference on Consumer Electronics (GCCE) | Albertus Agung, Thanat Jumneanbun, Pujana Paliyawan | 421-422 | 有 |

| | | | | | | | | |
|----|----------------|---|----|----------|--|--|-----------|---|
| 31 | THAWONMAS Ruck | アルツハイマー型認知症を早期発見するための Minecraft の MOD の提案 | 共著 | 2021年12月 | 芸術科学会論文誌 20(5) | 伊藤聡子, パリヤワン プージャーナー | 254-263 | 有 |
| 32 | THAWONMAS Ruck | A Card Game for Collecting Human-Perceived Similarity Data of Artwork Images | 共著 | 2022年1月 | IEEE Access 10 | Zhenao Wei, Pujana Paliyawan | 8103-8111 | 有 |
| 33 | THAWONMAS Ruck | Investigating the Effect of Survival Selection Policy in Surrogate-assisted Genetic Programming | 共著 | 2022年1月 | Proc. of the Joint Symposium: 27th International Symposium on Artificial Life and Robotics, 7th International Symposium on BioComplexity, and 5th International Symposium on Swarm Behavior and Bio-Inspired Robotics (AROB-ISBC-SWARM 2022) | Sohei Kino, Tomohiro Harada | 295-300 | 有 |
| 34 | THAWONMAS Ruck | Difference in Perceived Similarity Between Humans and Machines—A Case Study on Ukiyo-e Artworks | 共著 | 2022年3月 | ART RESEARCH 22(2) | Zhenao Wei, Shizhe Wang, Pujana Paliyawan, | | 有 |
| 35 | 金子貴昭 | 野風呂『続俳諧日誌』第四十三回(昭和二十一年七月二十八日から八月十四日) | 共著 | 2021年4月 | 京鹿子(1160), (京鹿子発行所) | 小林孔、高井悠子、竹内千代子、松本節子、吉田星子、高木晶子 | 27-38 | 有 |
| 36 | 金子貴昭 | 野風呂『続俳諧日誌』第四十四回(昭和二十一年八月十五日から八月二十四日) | 共著 | 2021年5月 | 京鹿子(1161), (京鹿子発行所) | 小林孔、高井悠子、竹内千代子、松本節子、吉田星子、高木晶子 | 30-36 | 有 |
| 37 | 金子貴昭 | 野風呂『続俳諧日誌』第四十五回(昭和二十一年八月二十五日から九月一日) | 共著 | 2021年6月 | 京鹿子(1162), (京鹿子発行所) | 小林孔、高井悠子、竹内千代子、松本節子、吉田星子、高木晶子 | 26-40 | 有 |
| 38 | 金子貴昭 | 野風呂『続俳諧日誌』第四十六回(昭和二十一年九月二日から九月九日) | 共著 | 2021年7月 | (1163), (京鹿子発行所) | 小林孔、高井悠子、竹内千代子、松本節子、吉田星子、高木晶子 | 34-41 | 有 |
| 39 | 金子貴昭 | 野風呂『続俳諧日誌』第四十七回(昭和二十一年九月十日から九月二十六日) | 共著 | 2021年8月 | 京鹿子(1164), (京鹿子発行所) | 小林孔、高井悠子、竹内千代子、松本節子、吉田星子、高木晶子 | 28-39 | 有 |
| 40 | 金子貴昭 | 野風呂『続俳諧日誌』第四十八回(昭和二十一年九月二十七日から十月五日) | 共著 | 2021年9月 | 京鹿子(1165) (京鹿子発行所) | 小林孔、高井悠子、竹内千代子、松本節子、吉田星子、高木晶子 | ,28-38 | 有 |
| 41 | 金子貴昭 | ARC のデータベースの基本解説 その 2; ARC ポータルデータベースから IIF マニフェストを取り出してみよう | 単著 | 2021年10月 | アート・リサーチ 22(1),1-6頁(立命館大学アート・リサーチセンター) | | | 有 |
| 42 | 金子貴昭 | 野風呂『続俳諧日誌』第四十九回(昭和二十一年十月六日から十月十二日) | 共著 | 2021年10月 | 京鹿子 1166, (京鹿子発行所) | 小林孔、高井悠子、竹内千代子、松本節子、吉田星子、高木晶子 | 34-37 | 有 |
| 43 | 金子貴昭 | 野風呂『続俳諧日誌』第五十回(昭和二十一年十月十三日から十月二十七日) | 共著 | 2021年11月 | 京鹿子 1167, (京鹿子発行所) | 小林孔、高井悠子、竹内千代子、松本節子、吉田星子、高木晶子 | 30-39 | 有 |
| 44 | 金子貴昭 | 野風呂『続俳諧日誌』第五十一回(昭和二十一年十月二十八日から十一月十四日) | 共著 | 2021年12月 | 京鹿子(1168), (京鹿子発行所) | 小林孔、高井悠子、竹内千代子、松本節子、吉田星子、高木晶子 | 29-39 | 有 |
| 45 | 金子貴昭 | 野風呂『続俳諧日誌』第五十二回(昭和二十一年十一月十五日から十二月二日) | 共著 | 2022年2月 | (1170), (京鹿子発行所) | 小林孔、高井悠子、竹内千代子、松本節子、吉田星子、高木晶子 | 31-41 | 有 |
| 46 | 金子貴昭 | 野風呂『続俳諧日誌』第五十三回(昭和二十一年十二月三日から十二月十四日) | 共著 | 2022年3月 | 京鹿子(1171) (京鹿子発行所) | 小林孔、高井悠子、竹内千代子、松本節子、吉田星子、高木晶子 | ,36-42 | 有 |

| | | | | | | | | |
|----|------------------------|---|----|----------|--|---|-----------------|---|
| 47 | 李亮 | Application of Multiple Iso-Surface Rendering to Improvement of Perceived Depth in Transparent Stereoscopic Visualization | 共著 | 2021年5月 | Journal of Advanced Simulation in Science and Engineering, vol. 8, no. 1 | Daimon Aoi, Kyoko Hasegawa, Yuichi Sakano, Satoshi Tanaka | 128-142 | 有 |
| 48 | 李亮 | Visuomotor control of intermittent circular tracking movements with visually guided orbits in 3D VR environment | 共著 | 2021年5月 | PLoS ONE 16(5): e0251371 | Woong Choi, Naoki Yanagihara, Jaehyo Kim, and Jongho Lee | 1-15 | 有 |
| 49 | 李亮 | Deep Learning-Based Point Upsampling for Edge Enhancement of 3D-Scanned Data and Its Application to Transparent Visualization | 共著 | 2021年6月 | Remote Sensing, vol. 13, no. 13, 2526 | Weite Li, Kyoko Hasegawa, Akihiro Tsukamoto, and Satoshi Tanaka | 1-26 | 有 |
| 50 | 李亮 | Integrated High-Definition Visualization of Digital Archives for Borobudur Temple | 共著 | 2021年12月 | Remote Sensing, vol. 13, no. 24, 5024 | Jiao Pan, Hiroshi Yamaguchi, Kyoko Hasegawa, Fadjar I. Thufail, Brahmantara, and Satoshi Tanaka | 1-19 | 有 |
| 51 | 李亮 | 3D reconstruction of Borobudur reliefs from 2D monocular photographs based on soft-edge enhanced deep learning | 共著 | 2022年1月 | ISPRS Journal of Photogrammetry and Remote Sensing, vol. 183 | Jiao Pan, Hiroshi Yamaguchi, Kyoko Hasegawa, Fadjar I. Thufail, Brahmantara, and Satoshi Tanaka | 439-450 | 有 |
| 52 | 佐藤弘隆 | 近代京都の都心部における家持ち率低下に伴う祇園祭山鉾行事への影響 | 単著 | 2021年12月 | 学術シンポジウム開催報告書『都市祝祭—歴史地理学者にはどうみえるのか?—』 | | | 有 |
| 53 | 佐藤弘隆 | デジタル・アーカイブの新たな展開 | 共著 | 2021年5月 | 月刊文化財 692号 | 矢野桂司、杉本繁治 | | |
| 54 | BATJARGAL BILIGSAIKHAN | A Prototypical Network-Based Approach for Low-Resource Font Typeface Feature Extraction and Utilization | 共著 | 2021年12月 | Data 6(12), 134 | Li Kangying, Maeda Akira | 1-20 | 有 |
| 55 | BATJARGAL BILIGSAIKHAN | 日本の歴史的書類におけるくずし字の認識 ——国際ARCセミナー・レビュー | 単著 | 2022年3月 | 紀要『アート・リサーチ』、22-2号 | | 2 | 無 |
| 57 | BATJARGAL BILIGSAIKHAN | ARC ポータルデータベースの機械判読可能形式データへの変換 API 開発 | 共著 | 2021年10月 | 紀要『アート・リサーチ』、22-1号、テクニカルサポート通信 | 津田光弘、山路正憲、金子貴昭 | 11 | 無 |
| 58 | 長谷川恭子 | Application of Multiple Iso-Surface Rendering to Improvement of Perceived Depth in Transparent Stereoscopic Visualization | 共著 | 2021年5月 | Journal of Advanced Simulation in Science and Engineering, vol. 8, no. 1 | Daimon Aoi, Liang Li, Yuichi Sakano, Satoshi Tanaka | 128-142 | 有 |
| 59 | 長谷川恭子 | Deep learning-based point upsampling for edge enhancement of 3D-scanned data and its application to transparent visualization | 共著 | 2021年6月 | Remote Sensing, vol.13(13) | Weite Li, Liang Li, Akihiro Tsukamoto, Satoshi Tanaka | 2526 (26 pages) | 有 |
| 60 | 長谷川恭子 | Integrated high-definition visualization of digital archives for Borobudur Temple | 共著 | 2021年12月 | Remote Sensing, vol.13(24) | Jiao Pan, Liang Li, Hiroshi Yamaguchi, , Fadjar I. Thufail, Brahmantara, Satoshi Tanaka | 5024 (19 pages) | 有 |
| 61 | 長谷川恭子 | 3次元計測データの可視化を活用した箱庭療法支援 | 共著 | 2021年6月 | 可視化情報(可視化情報学会誌), vol.41(161) | 田中寛, 李 | 42-46 | 有 |
| 62 | Mohamed Soliman | Synthesis of Geospatial Database and Interdisciplinary to Achieve NSDS for Downtown Alexandria, Egypt Vision 2030 | 共著 | 2021年12月 | International Cartographer Association (ICA), Volume 4, 2021 | Tomoyuki Usami, Satoshi Imamura, Keiji Yano, Hrishikesh Ballal, Abbas Mohamed Abbas, Tharwat Abdel Fattah, Sameh El-Kafrawy, Hossam El-Sayed, | 2-8 | 有 |

| | | | | | | | | |
|----|-----------------|--|----|----------|---|--|--|---|
| | | | | | | and Amr El-Shafie | | |
| 63 | Mohamed Soliman | Simulation of a Discovered Mamluk Picnic Palace (1347 CE) in Qal' at al-Kabsh | 共著 | 2021年11月 | International Journal of Town Planning and Management, Vol. 7 | Abbas Mohamed Abbas, Hany Abd el-Azim, Aymaan Ismael, Mohamed Abdel-Sabour, Raghda El-Nezory | 10-12 | 有 |
| 64 | Mohamed Soliman | Sustainable Geodesign of the Urban Cultural Heritage of Alexandria, Egypt Vision 2030: Homogeneity of Authenticity and Modernization | 共著 | 2021年7月 | Journal of Disaster Mitigation for Historical Cities, Vol. 15 | Usami Tomoyuki Imamura Satoshi Yano Keiji Ballal Hrishikesh | 299-306 | 有 |
| 65 | 細井浩一 | Preserving Japan: Saving Digital Games for Future Generations | 単著 | 2021年6月 | University of Ss. Cyril and Methodius in TrnavaActa Ludologica 4(1) | | 124-130 | 有 |
| 66 | 中村彰憲 | 2021年:ゲーム業界パースペクティブ:File03 株式会社アニプレックス デジタル事業部 次長 外山祐介 | 単著 | 2021年6月 | 角川アスキー総合研究所ファミ通ゲーム白書 2021 | | 28-29 | 有 |
| 67 | 中村彰憲 | 現地法人取材:BANDAI NAMCO Holdings CHINA CO., LTD. 新常态に適応し、新規IPも創出する段階へ BANDAI NAMCO Holdings CHINA CO., LTD. 冷泉弘隆 / 山田 大輔 | 単著 | 2021年6月 | 角川アスキー総合研究所ファミ通ゲーム白書 2021 | | 340-341 | 有 |
| 68 | 中村彰憲 | Interim Report on the Development of Shochiku Kyoto Studio VR Personal Tour System Using Unreal Engine 4 | 共著 | 2021年8月 | Replaying Japan 2022 Proceeding | | 72-75 | 有 |
| 70 | ロートマーティン | 日本のビジュアルメディア領域のための知識グラフ提供へ [Creating a knowledge graph for the domain of Japanese Visual Media] | 共著 | 2022年2月 | デジタルアーカイブ学会誌, 6巻1号 | プフェファー マグヌス | 31-34 | 有 |
| 71 | ロートマーティン | ドイツにおけるゲームレーティングシステム: USK と BPjM による青少年保護 | 共著 | 2021年6月 | シミュレーション&ゲーミング 31巻1号 | 藤原 正仁 | 63-75 | 有 |
| 72 | ロートマーティン | ヨーロッパにおけるゲームレーティングシステム - PEGI システムの構造と変容 | 共著 | 2021年5月 | デジタルゲーム学研究 14巻1号 | 藤原 正仁 | 19-31 | 有 |
| 73 | 竹中悠美 | 日本のアートワールドにおける作品展示の位相 | 単著 | 2022年3月 | 『須田記念 視覚の現場』第6号, 一般財団法人きょうと視覚文化振興財団 | | 23-25 | 無 |
| 74 | 鈴木桂子 | 『正徳ひな形』のかたち:振袖・小袖・浴衣について、その他 分担頁 | 共著 | 2022年2月 | 臨川書店、『西川祐信『正徳ひな形』—影印・注釈・研究—』 | 石上阿希・加茂瑞穂 | 79-80(コラム), および pp.67-72, 137-142, 180-186, 264-268, 308-313, 365-370, 373-374 (分担頁) | 無 |
| 75 | 島川博光 | Figuring Out Commercial Gimmicks Influencing Consumer Engagement from Psychological Change Points | 単著 | 2022年2月 | Advances in Social Sciences Research Journal, Vol.9, No.2 | Motoki Seguchi, Fumiko Harada | 190-210 | 有 |
| 76 | 孟林 | Recognition of Oracle Bone Inscriptions by using Two Deep Learning Models, | 共著 | 2022年 | Intl. J. of Digital Humanities, https://doi.org/10.1007/s42803-022- | Y. Fujikawa, H. Li, X. Yue, A. C V, A.P. G, | 1-15 | 有 |

| | | | | | | | |
|----|------------------------|---|----|----------|--|--|-----------|
| | | | | | 00044-9 (採択済み) | | |
| 77 | 三須祐介 | 田村容子著 中国文庫『男旦(おんながた)とモダンガール—二〇世紀中国における京劇の現代化』 | 単著 | 2021年6月 | 一般社団法人 中国研究所中国研究月報 75(6) | | 38-39 有 |
| 78 | 三須祐介 | 戦争と「同志」叙事——大島渚『戦場のメリークリスマス』から明毓屏『再見, 東京』へ—— | 単著 | 2021年7月 | 立命館大学国際言語文化研究所立命館言語文化研究 33(1) | | 97-110 有 |
| 79 | 三須祐介 | 言論の場から表現の場へ—1940年代の申曲の改良に関する初歩的分析(文演劇団を例として) | 単著 | 2022年3月 | 立教大学アジア地域研究所「移行する大衆演劇～人々の記憶の現像と制度の再建～」論文集 | 編者:細井尚子 執筆:岡崎哲也,輪島裕介 後藤隆基宮 信明徐 亞湘羅 仕龍林 乃文藤崎 景松本俊 樹洪 榮林海 震 簡 秀珍中野正昭王 楽水細 井尚子劉 建 綱程 筱媛洪 唯薇, 翻訳者:河野真南鈴木直子 中塚 亮平林宣和藤野真子 細井尚子 | 584-610 有 |
| 80 | 宮田悠史 | 「博物館経営に係る経営資源とサービスとの連関—逸翁美術館館長 仙海義之氏による発表の報告」 | 単著 | 2021年10月 | 立命館大学アート・リサーチセンター、22巻(1号) | | |
| 81 | 宮田悠史 | 「デジタルアーカイブを活用した地域経済振興の現状と展望」 | 単著 | 2021年4月 | デジタルアーカイブ学会誌、デジタルアーカイブ学会、5巻(s1号) | | 25-28 |
| 82 | 安宅望 | 〇奈良八景考 —成立時期の特定と選定の視点について— | 単著 | 2021年12月 | 立命館文学 第676号 | | 27-44 有 |
| 83 | Ellis TINIOS | Fostering Cultural Networks: the Kyoto Poet and Publisher Bunya no Shigetaka 文化ネットワークの育成—京の狂歌師・書肆、文屋茂喬を例に | 単著 | 2022年3月 | MoMAK catalogue: 'Creative Collaborations: Salons and Networks in Kyoto and Osaka 1780-1880' | | 24-25 有 |
| 84 | Ellis TINIOS | Special Contribution: Introducing an album of preparatory drawings by Katsushika Isai (1821-1880) | 単著 | 2022年3月 | Art Research Vol.22-2 ISSN 2436-5408 (Online) ISSN 1346-2601 (Print) | | 1-9 有 |
| 85 | Ellis TINIOS | Review article: British Museum exhibition: Hokusai: the Great Picture Book of Everything | | 2022年1月 | The Burlington Magazine, 164 | | 67-69 無 |
| 86 | Timothy Thorburn CLARK | 葛飾北斎筆「流水に鴨図」 | 単著 | 2021年5月 | 国華1057号 | 矢野明子訳 | 53-56 有 |
| 87 | Timothy Thorburn CLARK | 円山・四条「派」について | 単著 | 2022年3月 | 『サロン！雅と俗—京の大家と知られざる大坂画壇』展図録 | 矢野明子訳 | 20-21 有 |
| 88 | 原田真澄 | 「疫病と近世演劇 —東西興行界と安政五年」 | 単著 | 2021年6月 | 演劇博物館、『ロスト・イン・パンデミック 失われた演劇と新たな表現の地平』 | 監修:早稲田大学坪内博士 記念演劇博物館、編集:後藤隆基 | 168-161 無 |
| 89 | 原田真澄 | 「古典演劇と近代の戦争劇—前衛から古典へ」 | 単著 | 2021年10月 | 演劇博物館、『新派 SHIMPA—アヴェンギャルド演劇の水脈』 | 監修:早稲田大学坪内博士 記念演劇博物館、編著:後藤隆基、柴田康太郎 | 120-124 無 |
| 90 | 細井尚子 | 演劇の2タイプから見る日本の娯楽市場における「西洋」受容 | 単著 | 2022年3月 | 立教大学リポジトリ | | 445-464 無 |

| | | | | | | | | |
|-----|-------|--|----|--------------------|--|--|---|---|
| 91 | 森岡秀人 | 淡路の重文三銅鐸実測と松帆銅鐸の出現 | 単著 | 2021年4月 | 全国邪馬台国連絡協議会会報 邪馬台国新聞 12号 | | | 無 |
| 92 | 森岡秀人 | 古今東西、高地性集落行脚の50年 表六甲における群棲連動と城山古墳 銅鏡の早期入手と高地性集落 保久良山遺跡 青銅器の発見と厳かな磐座 | 単著 | 2021年5月 | 季刊考古学 157 高地性集落の新しい動き | | pp.14-17 pp.35-36 pp.56-60 pp.74 | 無 |
| 93 | 森岡秀人 | 発掘前夜から墳丘鍬入れへ—静寂の飛鳥、檜前の地の高松塚— | 単著 | 2022年3月 | 『古代文化』第73巻第4号(通巻 627号)公益財団法人 古代学協会 | | 108-115 | 無 |
| 94 | 森岡秀人 | 〈新刊紹介〉関川尚功著『考古学から見た邪馬台国大和説 畿内ではありえぬ邪馬台国』 | 単著 | 2022年3月 | 『古代文化』第73巻第4号(通巻 627号)公益財団法人 古代学協会 | | pp.142 | 無 |
| 95 | 山口記弘 | 日本映画界における「甲斐荘楠音」の功績 | 単著 | 2022年3月 | 立命館大学映像学部紀要, 2021 15号 | | 7-54 | 有 |
| 96 | 館野まりみ | Hideyoshi and Okuni's Kabuki: Memories Preserved in a Screen Painting | 単著 | 2022年2月 | CULTURAL IMPRINTS: War and Memory in The Samurai Age, Cornell University Press, United States of America | Elizabeth Oyler (Editor), Katherine Saltzman-Li | 52-90 | 有 |
| 97 | 鹿内 菜穂 | ヨガにおける太陽礼拝が気分および覚醒の変化に与える効果 | 単著 | 2022年3月 | 神奈川体育学会, 体育研究, 54巻 | | J-stage 掲載準備中のため未定 | 有 |
| 98 | 加茂瑞穂 | 伝統文様アニメーション自動化のための自然画像とフラクタル画像による事前学習 | 共著 | 2021年12月 | 情報処理学会『じんもんこん 2021 論文集』 | 鏡川悠介、久保山哲二、前田英作 | 260-267 | 有 |
| 99 | 岩切友里子 | 葛飾北斎筆「文昌星」 | 単著 | 2021年5月 | 国華1057号 | 朱雀花子 | pp. 44-45 | 有 |
| 100 | 岩切友里子 | 武者絵のイコノグラフィ | 単著 | 2022年1月 | ボストン美術館所蔵 THE HEROES 刀剣×浮世絵 カタログ | | pp.15-17 | 無 |
| 101 | 井上学 | 乗合バス事業の初期段階における事業の特徴と地域特性：京都府を事例として | 単著 | 2021年9月 | 同志社大学商学会, 同志社商学, 73 巻 2号 | | pp.447-462 | 無 |
| 102 | 谷昇 | ①「北条政子危急をめぐる朝幕の対応とその背景—新出「藤原定家自筆明月記断簡」(嘉禄元年七月一日～三日条)—」 ②「天皇・上皇同所同宿の歴史的展開と忌避—順徳・後鳥羽頻回長期接触の背景—」 | 単著 | 2021年7月 2022年3月 | 『立命館文学』674、2021年 『立命館文学』677、2022年 | | | |

| | | | | | | |
|--|--|--|---|--|--|--|
| | | | 月 | | | |
|--|--|--|---|--|--|--|

| 3. 研究発表等 | | | | | |
|----------|-----|--|----------|---|---|
| No. | 氏名 | 発表題名 | 発表年月 | 発表会議名、開催場所 | その他発表者名 |
| 1 | 田中覚 | 3次元計測を活用した、ユネスコ世界文化遺産・ボロブドゥール寺院遺跡の高品質可視化 | 2021年6月 | 精密工学会 大規模環境の3次元計測と認識・モデル化技術専門委員会、オンライン | |
| 2 | 田中覚 | ノイズ透明化による3次元計測点群データ高品質可視化 | 2021年6月 | 第1回・点群データ分析・可視化ワークショップ、オンライン | |
| 3 | 田中覚 | Noise-robust transparent visualization of large-scale point clouds acquired by 3D scanning | 2021年8月 | Simulation Technology Application Conference 2021 | |
| 4 | 田中覚 | Adaptive Opacity Control using Implicit Function for Visualizing Large-Scale 3D Measurement Point Clouds | 2021年9月 | The 40th JSST Annual International Conference on Simulation Technology (JSST2021) | Masaya Kishimoto, Motoaki Adachi, Kyoko Hasegawa, Liang Li |
| 5 | 田中覚 | Improving Depth Perception of Transparent Objects in Stereoscopic Vision using Ambient Occlusion | 2021年9月 | The 40th JSST Annual International Conference on Simulation Technology (JSST2021) | Kota Kataoka, Yuichi Sakano, Naohisa Sakamoto, Kyoko Hasegawa, Liang Li |
| 6 | 田中覚 | Improvement of Visibility in Feature Emphasis Visualization of 3D Measured Point Cloud | 2021年9月 | The 40th JSST Annual International Conference on Simulation Technology (JSST2021) | Mizuki Katahira, Kyoko Hasegawa, Liang Li |
| 7 | 田中覚 | 不透明度グラデーションを用いた舞鶴赤レンガ倉庫の透視可視化 | 2021年9月 | 第49回可視化情報シンポジウム (アートコンテスト) | 岸本将弥, 長谷川恭子, 李亮 |
| 8 | 田中覚 | 不透明度グラデーションを用いた大阪湾の渦の可視化 | 2021年9月 | 可視化情報学会 第49回可視化情報シンポジウム | 神阪 壮哉, 中田 聡史, 長谷川恭子, 李亮 |
| 9 | 田中覚 | 3次元計測点群の半透明表示のためのエッジとオブジェクト外縁部の同時強調可視化 | 2021年9月 | 可視化情報学会 第49回可視化情報シンポジウム | 佐々野 拓人, 長谷川恭子, 李亮 |
| 10 | 田中覚 | 3次元計測点群データのためのエントローピーを用いた特徴強調可視化 | 2021年9月 | 可視化情報学会 第49回可視化情報シンポジウム | 中山 拓人, 長谷川恭子, 李亮 |
| 11 | 田中覚 | 適応的点密度調整に基づく3次元点群データの高精細等高線描画 | 2021年9月 | 可視化情報学会 第49回可視化情報シンポジウム | 稲田 行宏, 長谷川恭子, 李亮, 伊藤 大貴, 竹内 庸晴 |
| 12 | 田中覚 | 半透明立体視の奥行き知覚改善のための多重面を用いた輝度分布調整 | 2021年9月 | 可視化情報学会 第49回可視化情報シンポジウム | 青井大門, 長谷川恭子, 李亮, 坂野雄一 |
| 13 | 田中覚 | 大規模文化遺産のデジタルアーカイブデータの統合型高精細可視化 | 2021年9月 | 日本応用数学会 2021年度年会 | Pan JIAO, 李亮, 山口欧志, 長谷川恭子, Fadjar I. Thufail, Bramantara |
| 14 | 田中覚 | 深層学習を用いたアップサンプリングに基づく3次元計測データのエッジ強調可視化 | 2021年9月 | 日本応用数学会 2021年度年会 | 李威特, 長谷川恭子, 李亮, 塚本章宏 |
| 15 | 田中覚 | 世界文化遺産「ボロブドゥール寺院遺跡」の3次元復元と融合可視化 | 2021年11月 | SPAR2021J 第17回3次元計測フォーラム | 李亮, 長谷川恭子 |

| | | | | | |
|----|------|--|----------|--|--|
| 16 | 田中覚 | Stochastic noise reduction for high-quality transparent visualization of 3D scanned point clouds | 2021年12月 | the 20th Asia Simulation Conference 2021 | |
| 17 | 田中覚 | Application of the edge upsampling network to soft-edge regions in a 3D-scanned point cloud | 2021年12月 | the 20th Asia Simulation Conference 2021 | Weite Li, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Akihiro Tsukamoto, Yamaguchi Hiroshi, Fadjar I. Thufail, Brahmantara |
| 18 | 田中覚 | ICT時代の文理融合研究を創出する可視化 | 2021年12月 | 日本学術会議公開シンポジウム・科学的知見の創出に資する可視化分科会(7) | |
| 19 | 田中覚 | 3次元計測点群の高精細透視可視化のための、確率的ポイントレンダリングとノイズ透明化効果 | 2022年1月 | 第140回数値実験炉研究プロジェクト全体会議 | |
| 20 | 田中覚 | 計測点群の半透明立体視における視覚ガイドとしてのエッジ強調可視化 | 2022年3月 | 2022年度精密工学会春季大会 | 青井 大門, 長谷川 恭子 李 亮, 坂野 雄一, 坂本 尚久 |
| 21 | 矢野桂司 | 立命館大学アート・リサーチセンター(ARC)の研究実践紹介 | 2021年5月 | 第二回立命館大学-清華大学国際学術シンポジウム「日中文化交流と人文学の新たな座標」 | 金子貴昭, 赤間亮 |
| 22 | 矢野桂司 | 祇園祭への立命館大学アート・リサーチセンターの取り組み | 2021年6月 | 祇園祭鷹山の復興～2022年の山鉾巡行に向かって～ | |
| 23 | 矢野桂司 | Constructing the Integrated Portal Site of Japanese Old Maps | 2021年8月 | the 34th International Geography Congress | Satoshi Imamura, Ryo Kamata |
| 24 | 矢野桂司 | URBAN CHANGE SURVEY OF MEDIEVAL ALEXANDRIA (EVOLUTION DESTINATIONS AND SHRINKAGE FACTORS VIA REMOTE SENSING AND GIS) | 2021年8月 | the 34th International Geographical Congress | Mohamed SOLIMAN, Tomoyuki USAMI, Satoshi IMAMURA |
| 25 | 矢野桂司 | The Gion Festival Digital Museum 2020 & 2021: The Past, Present, and Future of the Gion Festival (in 2020) Enjoy the Gion Festival Virtually (in 2021) | 2021年9月 | Strengthening the Resilience of African Memory Institutions in the face of COVID-19 and beyond | |
| 26 | 矢野桂司 | 新しい地理教育に対して大学がすべきことは何か? | 2021年9月 | シンポジウムS2公開「新たな高等学校地理教育体系における高大接続を考える」 | |
| 27 | 矢野桂司 | Motivation and Accurateness of Mapping Premodern Alexandria: GIS Criticism on Gaston Jondet's Atlas | 2021年9月 | 日本地理学会2021年秋季学術大会 | Mohamed SOLIMAN |
| 28 | 矢野桂司 | Examining geographical generalisation of machine learning models in urban analytics through street frontage classification and house price regression | 2021年9月 | GIScience 2021 | Stephen Law, Peter Jeszenszky |
| 29 | 矢野桂司 | 日本の歴史GISプラットフォームの構築ーJapanese Old Maps Onlineー | 2021年10月 | 第30回地理情報システム学会学術研究発表大会 | 夏目 宗幸, 今村 聡, 鎌田 遼 Benjamin Lewis |
| 30 | 矢野桂司 | 京都地籍図データベースを用いた明治末期地価分布のホットスポット分析 | 2021年10月 | 第30回地理情報システム学会学術研究発表大会 | 青木 和人 |
| 31 | 矢野桂司 | Sustainable Alternative Future for Kom Al-Nadura | 2021年10月 | 第30回地理情報システム学会学術研究発表大会 | Mohamed Soliman, Tomoyuki Usami, |

| | | | | | |
|----|------|---|----------|--|--|
| | | Cultural Heritage site, Alexandria, NSDS Egypt Vision 2030 | | | Satoshi Imamura, Hrishikesh Ballal, Raghda El-Nezory, Rasha Abdelrasoul, Doaa Ali, Asmaa Elkafrawy |
| 32 | 矢野桂司 | 平安京跡データベースを用いた遺跡マネジメントの分析と検証 | 2021年10月 | 第30回地理情報システム学会 学術研究発表大会 | 武内 樹治 |
| 33 | 矢野桂司 | Virtual Kyoto Project | 2021年11月 | One day Workshop on Digitization of Historical Cities in Egypt and Japan | |
| 34 | 矢野桂司 | Virtual Kyoto Project: Discovering Integrated Knowledge in Digital Humanities | 2021年12月 | ANGIS Tokyo 2021 | |
| 35 | 矢野桂司 | 歴史都市時空間散歩: デジタル人文学の視点から | 2021年12月 | 2021年度文学部校友会 新清心館・啓明館完成記念企画 | |
| 36 | 矢野桂司 | Construction of an Old-Map Framework for Promoting Historical GIS Research and Education | 2021年12月 | the 30th International Cartographic Conference | Satoshi Imamura, Ryo Kamata, Muneyuki Natsume, Benjamin Lewis |
| 37 | 矢野桂司 | The Heian-Kyo Site's Database and Platform: Their Construction and Utilization | 2021年12月 | the 30th International Cartographic Conference | Mikiharu Takeuchi |
| 38 | 矢野桂司 | コメント:総合知に向けた人文社会科学データの観点から | 2022年1月 | 公開シンポジウム「総合知創出に向けた人文・社会科学のデジタル研究基盤構築の現在」 | |
| 39 | 矢野桂司 | バーチャル京都を活用する | 2022年3月 | 第16回 CODH セミナー「まち」や都市のデジタルアーカイブ - 歴史ビッグデータと実世界での利活用 | |
| 40 | 前田亮 | 経営哲学に関するテキストにおける検索結果の多様性を考慮した検索システム | 2021年12月 | 人文科学とコンピュータシンポジウム, オンライン | 東雲 陽美, 青山 敦 |
| 41 | 前田亮 | 役者評判記を用いた役者情報の抽出 | 2021年12月 | 人文科学とコンピュータシンポジウム, オンライン | 川端 恵大, 赤間 亮 |
| 42 | 西浦敬信 | SHARP-SOUND-IMAGE CONSTRUCTION METHOD USING MULTICHANNEL SOUND SYSTEM WITH OPTIMAL PARAMETRIC LOUDSPEAKER ARRANGEMENT | 2021年12月 | APSIPA-ASC 2021 | Yuna Harada, Naoto Shimada, Haonan Wang, Kenta Iwai, Masato Nakayama |
| 43 | 西浦敬信 | 3-D sound field reproduction with reverberation control on surround sound system by combining parametric and electro-dynamic loudspeakers | 2021年8月 | INTER-NOISE 2021 | Yuna Harada, Kenta Iwai, Masato Nakayama |
| 44 | 西浦敬信 | Upper hemisphere sound image control with horizontal-arranged loudspeakers based on parametric head-related transfer functions | 2021年8月 | INTER-NOISE 2021 | Syumpei Miura, Kenta Iwai, Yoshiharu Soeta |
| 45 | 西浦敬信 | パラメトリック・ダイナミクスピーカを用いた直間比制御に基づく明瞭音像の構築の主観評価 | 2022年3月 | 日本音響学会 2022年春季研究発表会 | 原田 優菜, 王 浩南, 岩居 健太, 中山 雅人 |
| 46 | 西浦敬信 | パラメトリック・ダイナミクスピーカを用いた直間比制御に基づく明瞭音像の構築 | 2021年9月 | 日本音響学会 2021年秋季研究発表会 | 原田 優菜, 王 浩南, 岩居 健太, 中山 雅人 |
| 47 | 西浦敬信 | 水平面配置スピーカを用いたパラメトリック頭部伝達関数に基づく上方音像制御の | 2021年9月 | 日本音響学会 2021年秋季研究発表会 | 三浦 峻平, 岩居 健太, 添田喜治 |

| | | | | | |
|----|------|--|----------|---|--|
| | | 検討 | | | |
| 48 | 李亮 | A Digital Archive of Borobudur based on 3D Point Clouds | 2021年7月 | XXIV ISPRS Congress, online | M. Kawato, K. Hasegawa, M. Adachi, H. Yamaguchi, F. I. Thufail, S. Riyanto, Brahmantara, and S. Tanaka |
| 49 | 李亮 | Improvement of Visibility in Feature Emphasis Visualization of 3D Measured Point Cloud | 2021年9月 | The 40th JSST Annual International Conference on Simulation Technology (JSST2021), online | Kota Kataoka, Yuichi Sakano, Naohisa Sakamoto, Kyoko Hasegawa, and Satoshi Tanaka |
| 50 | 李亮 | Adaptive Opacity Control using Implicit Function for Visualizing Large-Scale 3D Measurement Point Clouds | 2021年9月 | The 40th JSST Annual International Conference on Simulation Technology (JSST2021), online | Masaya Kishimoto, Motoaki Adachi, Kyoko Hasegawa and Satoshi Tanaka |
| 51 | 李亮 | Posture Recognition System using Depth Sensor | 2021年10月 | 2021 21st International Conference on Control, Automation and Systems (ICCAS), online | Shogo Sekiguchi, Nak Yong Ko, and Woong Choi |
| 52 | 李亮 | Calculation of Mahjong Score using AI | 2021年10月 | 2021 21st International Conference on Control, Automation and Systems (ICCAS), online | Takuma Kano, Nak Yong Ko, and Woong Choi |
| 53 | 李亮 | Application of the Edge Upsampling Network to Soft-Edge Regions in a 3D-Scanned Point Cloud | 2021年12月 | 20th Asia Simulation Conference (AsiaSim2021), online | Weite Li, Kyoko Hasegawa, Akihiro Tsukamoto, Yamaguchi Hiroshi, Fadjar I. Thufail, Brahmantara, and Satoshi Tanaka |
| 54 | 李亮 | 鎧兜の3次元計測データに基づくデジタルコンテンツの作成 | 2021年12月 | 人文科学とコンピュータシンポジウム(じんもんこん 2021), オンライン開催 | ZHANG Zian, 長谷川 恭子, 田中 覚 |
| 55 | 李亮 | ボロボドゥール寺院壁面レリーフの3次元復元のための学習データセット作成支援法 | 2021年12月 | 人文科学とコンピュータシンポジウム(じんもんこん 2021), オンライン開催 | Ji Shenyu, 長谷川 恭子, 田中 覚 |
| 56 | 李亮 | 深層学習を用いたアップサンプリングに基づく3次元計測データのエッジ強調可視化 | 2021年9月 | 日本応用数学会2021年度年会, オンライン開催 | 李威特, 長谷川恭子, 塚本章宏, 田中覚 |
| 57 | 李亮 | 大規模文化遺跡のデジタルアーカイブデータの統合型高精細可視化 | 2021年9月 | 日本応用数学会2021年度年会, オンライン開催 | Pan JIAO, 山口欧志, 長谷川恭子, Fadjar I. Thufail4, Bramantara, 田中覚 |
| 58 | 李亮 | 半透明立体視の奥行き知覚改善のための多重面を用いた輝度分布調整 | 2021年9月 | 可視化情報学会 第49回可視化情報シンポジウム, オンライン開催 | 青井大門, 長谷川恭子, 坂野雄一, 田中覚 |
| 59 | 李亮 | 適応的点密度調整に基づく3次元点群データの高精細等高線描画 | 2021年9月 | 可視化情報学会 第49回可視化情報シンポジウム, オンライン開催 | 稲田 行宏, 長谷川恭子, 田中覚, 伊藤大貴, 竹内 庸晴 |
| 60 | 李亮 | 3次元計測点群データのためのエントロピーを用いた特徴強調可視化 | 2021年9月 | 可視化情報学会 第49回可視化情報シンポジウム, オンライン開催 | 中山 拓人, 長谷川恭子, 田中覚 |
| 61 | 李亮 | 3次元計測点群の半透明表示のためのエッジとオブジェクト外縁部の同時強調可視化 | 2021年9月 | 可視化情報学会 第49回可視化情報シンポジウム, オンライン開催 | 佐々野 拓人, 長谷川恭子, 田中覚 |
| 62 | 李亮 | 不透明度グラデーションを用いた大阪湾の渦の可視化 | 2021年9月 | 可視化情報学会 第49回可視化情報シンポジウム, オンライン開催 | 神阪 壮哉, 中田 聡史, 長谷川恭子, 田中覚 |
| 63 | 李亮 | 不透明度グラデーションを用いた舞鶴赤レンガ倉庫の透視可視化 | 2021年9月 | 可視化情報学会 第49回可視化情報シンポジウム, オンライン開催 | 岸本将弥, 長谷川恭子, 田中覚 |
| 64 | 李亮 | 世界文化遺産「ボロボドゥール寺院遺跡」の3次元復元と融合可視化 | 2021年11月 | SPAR2021] 第17回3次元計測フォーラム, オンライン開催 | 田中覚, 長谷川恭子 |
| 65 | 李亮 | 計測点群の半透明立体視における視覚ガイドとしてのエッジ強調可視化 | 2022年3月 | 2022年度精密工学会春季大会, オンライン開催 | 青井 大門, 長谷川 恭子, 坂野 雄一, 坂本 尚久, 田中 覚 |
| 66 | 河角直美 | カラー写真と占領期京都研究 | 2022年1月 | 立命館大学国際平和ミュージアム平和教育研究センター 第22回メディア資料研究会 | 衣川太一 |

| | | | | | |
|----|---------------------------|---|----------|---|----------------|
| 67 | 齋藤進也 | 京都ストリート文化アーカイブ- 街を彩った大衆文化の記憶とその可視化 | 2021年7月 | ARC days、立命館大学アート・リサーチセンター | |
| 68 | 齋藤進也 | AI とゲームシステムによる『遊べる京都文化資源アーカイブ』の構築 | 2021年7月 | ARC days、立命館大学アート・リサーチセンター | 岡田陸 |
| 69 | 齋藤進也 | 京都の大衆音楽のルーツを辿る ~バンヒロシ大学 in 立命館大学~ | 2022年1月 | 第98回 国際ARCセミナー 立命館大学アート・リサーチセンター | バンヒロシ、竹田章作 |
| 70 | 齋藤進也 | 京都ストリート文化アーカイブ- 街を彩った大衆文化の記憶とその可視化- | 2022年2月 | 「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点」プロジェクト 成果報告会、立命館大学アート・リサーチセンター | 竹田章作 |
| 71 | 齋藤進也 | AI とゲームシステムによる『遊べる京都文化資源アーカイブ』の構築 | 2022年2月 | 「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点」プロジェクト 成果報告会、立命館大学アート・リサーチセンター | 岡田陸 |
| 72 | 佐藤弘隆 | 【招待】デジタル・アーカイブによる地域文化資源の発見と活用 | 2022年1月 | 立命館大学土曜講座、立命館大学、京都市 | |
| 73 | 佐藤弘隆 | 【招待】地域の文化資源のデジタル化・公開・活用:京都祇園祭のデジタル・ミュージアム | 2021年8月 | GIS Day in 伊勢 2021「GISとデジタル人文学:ビッグデータ時代の地域資源の活用方法」、オンライン | |
| 74 | 佐藤弘隆 | 【招待】近代京都の都心部における持ち家率低下に伴う祇園祭山鉾行事への影響 | 2021年7月 | 人文地理学会 第158回 歴史地理研究部会「都市祝祭 -歴史地理学者にはどう見えるのか?」、佛教大学、京都市 | |
| 75 | 佐藤弘隆 | 【招待】祇園祭と厄災 一起源からデジタル・ミュージアムまで | 2021年6月 | 大阪・京都文化講座オンライン「病との対峙」 | |
| 76 | BATJARGAL BILIGSAIKHAN | A Yet Another Trial to Apply Deep Learning Technologies to the Digitized Images of the Databases of the Art Research Center Owned Materials | 2021年5月 | The 85th International ARC Seminar (Webinar), Art Research Center, Ritsumeikan University, Japan | |
| 77 | Mohamed Soliman | Generating metashape of Kyoto City Archaeological Museum collection 京都市考古資料館 | 2021年11月 | Digitization of Historical Cities in Egypt and Japan Workshop. ARC-IJAC, Ritsumeikan University, online | Naoyo Sekihiro |
| 78 | Mohamed Soliman | Visualization of Qait`bay Citadel Project: new horizon for Alexandria cultural heritage | 2021年11月 | Digitization of Historical Cities in Egypt and Japan Workshop. ARC-IJAC, Ritsumeikan University | Doaa Ali |
| 79 | Mohamed Soliman | Historical LULC Change of Pre-modern Alexandria via the Napoleonic Map(1517-1801) | 2021年11月 | Graduate School of Faculty of Letters, Arts, and Sciences, Middle Eastern and Islamic Course, Waseda University, online | |
| 80 | Mohamed Soliman | Synthesis of Geospatial Database and Interdisciplinary to Achieve NSDS for Downtown Alexandria, Egypt Vision 2030 | 2021年12月 | 30th International Cartographic Conference (ICC 2021). Florence, online | |
| 81 | Mohamed Soliman | Synthetic Technics and Interdisciplinary Approach for Cultural Heritage in the Time of Natural and Man-Made Disaster | 2022年1月 | Climate, Culture, Peace Conference. ICCROM, British Council, online | |
| 82 | Mohamed Soliman | Qait`bay Citadel (1477-1479): Visualizing the Main Coastal Fortification of Medieval Alexandria, Egypt | 2022年2月 | ARC-IJAC Annual Meeting, Ritsumeikan University, online | |
| 83 | Mohamed Soliman | Synthesizing Interdisciplinary Approach and Advanced Technique: A Resilient Intervention for a Vulnerable | 2022年3月 | Egypt Japan Multidisciplinary Science Forum, Climate Change, Sustainable Development, and the Green Economy. Japan Society for the Promotion of | |

| | | | | | |
|----|-----------------|---|---------|--|---|
| | | Cultural Heritage | | Science (JSPS). Conference hall of NRIAG | |
| 84 | Mohamed Soliman | Geodesign Workflow for Building a Strategic Change Model (Cultural heritage urban mobility and environment) | 2022年3月 | Geodesign for Sustainable Planning Seminar. E-JUST | |
| 85 | Mohamed Soliman | Sustainable Geodesign for Downtown Alexandria to Achieve the SDGs, Egypt vision 2030 | 2022年3月 | Geodesign for Sustainable Planning Seminar. E-JUST | |
| 86 | Mohamed Soliman | Synthesizing Interdisciplinary Approach and Advanced Technique: A Resilient Intervention for a Vulnerable Cultural Heritage | 2022年3月 | Geodesign for Sustainable Planning Seminar. E-JUST | |
| 87 | 細井浩一 | Activities to preserve and utilize Games in Kyoto and Ritsumeikan from 1998 to 2022 | 2022年3月 | Digital Entertainment Conference 2022 | Hitomi Mohri |
| 88 | 井上明人 | アルゴリズムを批評するために | 2021年5月 | IT 批評 | |
| 89 | 井上明人 | Preservation Videogame Roundtable | 2021年8月 | 2021 Replaying Japan | Akinori NAKAMURA, Masaharu MIYAWAKI, Jin Ha Lee, Henry E Lowood |
| 90 | 井上明人 | Theme Park Studies in Japan | 2021年8月 | 2021 Replaying Japan | Martin Roth, T.L. Taylor, Akinori Nakamura, Yasuo Kawasaki |
| 91 | 井上明人 | ゲーム言説を通じた日独間の若者文化の比較 | 2021年2月 | 第6回若者文化シンポジウム「現代文化にみる東西の交流」 | |
| 92 | 中村彰憲 | Gundam and the birth of the Real Robot Media Ecology | 2021年6月 | Mechademia International Conference: Kyoto 2021 | |
| 93 | 中村彰憲 | グローバルゲーム業界最前線 2021—ニューノーマル時代を先行する 欧米中に日本企業は如何に適応すべきか | 2021年8月 | コンピュータエンターテインメントデベロッパーズカンファレンス 2021(CEDEC2021) | 北阪幹生 上床 光信 |
| 94 | 中村彰憲 | キャラクター経済圏と IP クリエーションの視点から望む、ニューノーマル時代におけるメディアミックスの新パラダイム | 2021年8月 | コンピュータエンターテインメントデベロッパーズカンファレンス 2021(CEDEC2021) | イシイジロウ 中山淳雄 |
| 95 | 中村彰憲 | Interim Report on the Development of Shochiku Kyoto Studio VR Personal Tour System Using Unreal Engine 4 | 2021年8月 | Replaying Japan 2021 | Seiki Okude |
| 96 | Roth, Martin | Japanese Visual Media Graph - Bündelung des Wissens von Fan-Gemeinschaften in einem domänenspezifischen Knowledge Graph | 2022年3月 | DHd2022 | Pfeffer, Magnus, Zoltan Kacsuk |
| 97 | Roth Martin | GamifiNation. Historical characters in the Japanese musō game Sengoku BASARA | 2021年6月 | Mechademia 2021 | Picard, Martin |
| 98 | Roth Martin | Under the radar – Visualizing the spatial complexity of “Japanese” console videogames | 2021年8月 | Replaying Japan 2021 | |
| 99 | Roth Martin | デジタルゲームにおける『遊び』『集まれ動物の森』を例に | 2021年6月 | カルチュラル・タイフーン 2021 | |

| | | | | | |
|-----|-----------------|---|----------|---|--|
| 100 | 稲葉光行 | 「創造と学習を横断する遊びプロジェクト-II」成果報告 | 2014年9月 | ARC Days 2021 | 宮本敬太 |
| 101 | Mitsuyuki Inaba | Ten Years of Dialogue: Reflecting on Replaying Japan | 2021年8月 | Replaying Japan Conference 2021 | Koichi Hosoi, Rachael Hutchinson, Akinori Nakamura, Jérémie Pelletier-Gagnon, Geoffrey Rockwell and Mimi Okabe |
| 102 | 稲葉光行 | 「創造と学習を横断する遊びプロジェクト-II」成果報告 | | 文部科学省国際共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ国際共同研究拠点」・「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点」プロジェクト/2021年度成果発表会 | シン・ジュヒョン, 宮本敬太 |
| 103 | 西林孝浩 | (研究発表)「西安市長安区郭莊村出土の韓休墓壁画について」 | 2021年7月 | 中国美術研究会, 京都大学(オンライン開催) | |
| 104 | 竹中悠美 | 「ゼロ世代」WEB コンテンツ保存プロジェクト」 | 2021年7月 | ARC Days 2021, 立命館大学アート・リサーチセンター、京都 | 向江駿佑, 森敬洋, Moon Jhee, Zhang Yixin |
| 105 | 竹中悠美 | 「ゼロ世代」WEB コンテンツ保存プロジェクト」 | 2022年2月 | 文部科学省 国際共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ国際共同研究拠点」・「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点」プロジェクト/2021年度成果発表会, 立命館大学アート・リサーチセンター、京都 | 向江駿佑, 森敬洋, 中村結衣, Zhang Yixin |
| 106 | 鈴木桂子 | 【招待】Designs and their Dissemination in Japan and Asia (基調講演) | 2021年12月 | Designing Modern Japan: Visualizing the Modern Experience in Japan and Asia Yale-NUS College, シンガポール | |
| 107 | 鈴木桂子 | “Kimonos” and their Inspired Products as Embodiments of Global Entanglement | 2022年3月 | The Association for Asian Studies, AAS 2022 Annual Conference アメリカ合衆国ハワイ州ホノルル市 | |
| 108 | 島川博光 | Determining Gimmicks of A Storytelling Commercial with Extraction of Consumers' Psychological Change Points | 2022年2月 | 7th International Congress on Information and Communication Technology | Motoki Seguchi, Fumiko Harada |
| 109 | 島川博光 | Evaluation of Commercials by Psychological Changes in Consumers' Physiological Characteristics | 2022年2月 | International Conference on Information and Computer Technology | Motoki Seguchi, Fumiko Harada |
| 110 | 大田壮一郎 | ARC 所蔵藤井永観文庫資料の予備的調査 | 2022年2月 | 立命館大学アート・リサーチセンター 文部科学省 国際共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ国際共同研究拠点」・「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点」プロジェクト 成果報告 2021年度 成果発表会 | |
| 111 | 孟林 | An AI-based Android Application for Ancient Documents Text Recognition | 2021年8月 | 2021 Intl. Symp. on Advanced Technologies and Applications in the Internet of Things, Kusatsu, Ritsumeikan Univ. | T. Morioka, A. C V |
| 112 | 孟林 | An Effective Approach for Noise Reduction from Shirakawa's Hand-Notated | 2021年8月 | 2021 Intl. Symp. on Advanced Technologies and Applications in the Internet of Things, Kusatsu, Ritsumeikan | Z. Wang, X. Yue |

| | | | | | |
|-----|--------------|--|----------|---|------------------------------------|
| | | Documents on OBIs Research | | Univ. | |
| 113 | 孟林 | Deep Learning and Image Processing Combined Organization of Shirakawa's Hand-Notated Documents on OBI Research | 2021年12月 | The 2021 IEEE Intl. Conf. on Networking, Sensing and Control, XiaMen, China | X. Yue, B. Lyu, H. Li, Y. Fujikawa |
| 114 | 孟林 | Computer-assisted Ancient Documents Re-organization | 2021年11月 | Intl. Conf. on Identification, Information and Knowledge in the Internet of Things, Hangzhou China | B. Lyu, A. Tanaka |
| 115 | 孟林, | 画像処理とクラスターを用いたくずし字セグメンテーション | 2021年6月 | 第20回情報科学技術フォーラム (FIT2021), | 高 涵, 呂 冰, 王 志辰, |
| 116 | 宮田悠史 | 「デジタルアーカイブを活用した地域経済振興の現状と展望 | 2021年4月 | 第6回研究大会 (デジタルアーカイブ学会) | |
| 117 | 宮田悠史 | 「自治体映像資料に関するデジタルアーカイブ構築の実践 ～「京都ニュース」のデジタルアーカイブ構築を事例に | 2022年2月 | 第11回知 識・芸術・文化情報学研究会 | |
| 118 | 安宅望 | 大規模文化情報の連環による知的生産プロジェクトの内「ARCのデータベースに豊富に集められた 相撲に関する文化情報を整理して一般に公開する試み」 | 2022年2月 | 立命館大学アート・リサーチセンター 文部科学省 国際共同利用・共同研究 拠点「日本文化資源デジタル・アーカイ ブ国際共同研究拠点」「日本文化デジ タル・ヒューマニティーズ拠点」プロジェ クト 成果報告 2021 年度 成果発表会 | 戸塚史織、山本睦月 |
| 119 | 安宅望 | 小島貞二相撲番付コレクションのオンラインデータベース公開と新たな相撲史研究の可能性 | 2021年6月 | アート・ドキュメンテーション学会 2021 年度 年次大会 | |
| 120 | 安宅望 | 「「瀟湘八景」と「奈良八景」: 日本における八景現象受容の一形態について」 | 2021年5月 | 第二回 立命館大学-清華大学 国際学 術シンポジウム | |
| 121 | 松葉涼子 | Producing Facsimile Reproductions (Fukusei): the Case of Hokusai's Thirty-Six Views of Mount Fuji | 2021年8月 | Eajs conference (online) | |
| 122 | 松葉涼子 | The Impact of Popular Prints: Creative Process of Imaging Meisho-e (Pictures of Famous Places) from the Early modern to Modern Japan | 2022年3月 | AAS2022 Annual Conference (online) | |
| 123 | Ellis TINIOS | Virtual Exhibitions and the online presentation of books: a user's perspective | 2021年8月 | European Association of Japanese Studies, virtual conference | |
| 124 | Ellis TINIOS | A neglected book by Hokusai: Ehon Tōshisen | 2021年1月 | Cohn Lecture, Ashmolean Museum, Oxford (Virtual | |

| | | | | | |
|-----|------------------|---|----------|--|------------------------|
| | | gogon zekku of 1880 | | presentation) | |
| 125 | Ellis TINIOS | An introduction to Woodblock printed books in early modern Japan | 2021年2月 | Seminar for the students of Prof Michael Kinski, Frankfurt University (Virtual presentation) | |
| 126 | Ellis TINIOS | The art of the book in early modern Japan | 2021年6月 | Lecture for SOAS MA course (Virtual presentation) | |
| 127 | Ellis TINIOS | Presenting text in print in early modern Japan | 2021年8月 | Summer school: Reading early modern Japanese. Emmanuel College, Cambridge University (Virtual presentation) | Dr Alessandro Bianchi, |
| 128 | Ellis TINIOS | Art and Commerce at Play: the Illustrated Book in Early Modern Japan | 2021年9月 | Cambridge University Alumni Festival (Virtual presentation) | |
| 129 | Ellis TINIOS | The kabuki theatre as seen in colour woodblock prints | 2021年10月 | Leeds Museums Services (Virtual presentation) | |
| 130 | Ellis TINIOS | Introducing an album of preparatory drawings by Kat sushika Isai (1821-1880) | 2021年11月 | ARC International Seminar | |
| 131 | Ellis TINIOS | Introducing Yoshitoshi's 100 Aspects of the Moon series | 2021年12月 | Seminar for the students of Prof Michael Kinski, Frankfurt University (Virtual presentation) | |
| 132 | Ellis TINIOS | Art and Commerce at Play: the Illustrated Book in Early Modern Japan | 2021年3月 | Cambridge University special lecture series tied to an exhibition in the library. Expanded version of 2021年9月26日 lecture | |
| 133 | Ellis TINIOS | Brush to paper: drawing in Japanese art | 2021年3月 | Seminar for the MA students of Prof Ben Thomas, University of Kent (Virtual presentation) | |
| 134 | バルクマン アンネグレート | “From Spoken Drama to Blockbuster Productions – The Shiki Theatre Company’s Restart in the 1980s” | 2021年11月 | 15th Annual Conference on Asian Studies (ACAS), Department of Asian Studies, Palacký University Olomouc, November 26-27, 2021. (Online). | |
| 135 | バルクマン アンネグレート | “Impact of Modernity in the World of the Japanese Tea Ceremony Practice, Korean Tea Bowls as an Example”, | 2022年1月 | International Conference Modernity in Korean Art Reconsidered, Freie Universität Berlin, January 27-29, 2022. (Online). | |
| 136 | バルクマン アンネグレート | 「浮世絵に映った明治時代の「忠臣蔵」 | 2022年2月 | 忠臣蔵浮世絵国際シンポジウム、2022年2月11日、赤穂市制施行70周年記念事業 | |

| | | | | | |
|-----|------------------------|--|----------|---|--|
| 137 | ベルクマン アンネグレート | “Korean Tea Bowls (Kōrai Chawan) in the Momoyama Period Tea Ceremony”, | 2022年2月 | <i>Transcultural Exchanges: Mapping Movement of Art, Ideas, and People in Asia</i> , International Online Symposium, Kyushu University, IMAP・ODOC, February 12-13, 2022 | |
| 138 | Timothy Thorburn CLARK | Hokusai's late works: the block-ready drawings | 2021年11月 | British Museum & YouTube | Asano Shugo, John Carpenter, Frank Feltens, Sarah Thompson |
| 138 | Timothy Thorburn CLARK | The Development of Historical Digital Methods: Late Hokusai as case study | 2022年1月 | Courtauld Research Forum & YouTube | Dominic Oldman |
| 139 | 細井尚子 | 演劇の2タイプから見る日本の娯楽市場における「西洋」受容 | 2021年12月 | 「移行する大衆演劇～人々の記憶の現像と制度の再建～」 | 輪島裕介、徐亜湘ほか17名 |
| 140 | 森岡秀人 | 淡路島における重要文化財3銅鐸をめぐる諸問題 | 2021年8月 | 国立歴史民俗博物館共同研究 弥生・古墳時代青銅器研究会発表 「近畿地方における弥生時代～古墳時代初頭の金属器生産と社会」 | 若林邦彦 他 |
| 141 | 森岡秀人 | 銅鐸研究最前線—ここまでわかった松帆銅鐸 | 2021年10月 | 兵庫の重要遺跡(弥生時代編2)、兵庫県芸術文化協会、兵庫県民会館 | |
| 142 | 森岡秀人 | 初期農耕文化の東伝—淀川をさかのぼった遠賀川集団はどう変わったか— | 2021年11月 | 特別展『黎明—東西文化が共生した先史時代の近江』関連講座、滋賀県立安土考古博物館 | |
| 143 | 森岡秀人 | 探求！尼崎のあけぼの—東アジア・日本列島からみた考古資料の価値— | 2021年11月 | 尼崎市立歴史博物館 開館1周年記念講演会(第2回) | |
| 144 | 森岡秀人 | 弥生時代の分業と協業 | 2021年11月 | 考古学研究会4例会合同研究集会、名古屋大学 | |
| 145 | 森岡秀人 | 日本最大の鏡と平原遺跡—伊都国を掘った在野の考古学者— | 2021年12月 | シニア文化塾(歴史コース)、大阪府富田林市すばるホール | |
| 146 | 森岡秀人 | 高松塚古墳の発掘と壁画遭遇半世紀 | 2022年2月 | 国宝高松塚古墳壁画発見50周年記念展『よみがえる極彩色壁画』第1回講演会、奈良県立橿原考古学研究所 | 大杉栄嗣 |
| 147 | 森岡秀人 | 高松塚古墳極彩色壁画発掘の調査に従事して | 2022年3月 | 『高松塚古墳壁画発見50周年記念 高松塚が目覚めた日—極彩色壁画の発見—』令和3年度日本博主催・共催型プロジェクト 文化庁・独立行政法人日本芸術文化振興会・奈良県・明日香村・朝日新聞社 編集・発行 奈良県 | 有賀祥隆・青柳正規・大杉栄嗣・岡林孝作 |
| 148 | 山口記弘 | 時代劇映画の文化的芸術的価値の再発見 —殺陣と衣裳— | 2022年1月 | シンポジウム「日本大衆文化研究の最前線—新しい日本像の創出にむけて—」 国際日本文化研究センター | 石川肇 他 |
| 149 | 鹿内菜穂 | Short-term AT: Relations among mood states, pulse, and feelings of heaviness and | 2021年7月 | The 32 nd International Congress of Psychology, Online | Nao Shikanai |

| | | | | | |
|-----|------|---|---------|--|---|
| | | warmth | | | |
| 150 | 鹿内菜穂 | 大学体育におけるオンラインヨガの取り組み－授業方法の違いによる満足度と目標達成度の差異－ | 2021年9月 | 日本体育・スポーツ・健康学会第71回大会、オンライン開催 | |
| 151 | 加茂瑞穂 | “Deciphering Edo Period Designs: The Social and Cultural Context of Early Modern and Modern Kimono Pattern Books” | 2021年8月 | 16th International Conference of the European Association for Japanese Studies | Aki Ishigami, Michelle Kuhn Hirano |
| 152 | 亀田和子 | “Lost and Found in a Poetic Party: A Failed Transculturation of Orchid Pavilion Imagery,” | 2022年3月 | Association of Asian Studies (AAS) | ローレンス・マルソー 宇野瑞木 |
| 153 | 井上学 | 公共交通の愛好者に向けたイベント開催時における公共交通利用の動機づけ | 2021年8月 | 日本モビリティ・マネジメント会議 第16回大会、熊本城ホール、熊本市 | 西村学 |
| 154 | 井上学 | 新型コロナ感染症に対する公共交通利用の不安を低減するための体験型啓発の取り組み | 2021年8月 | 日本モビリティ・マネジメント会議 第16回大会、熊本城ホール、熊本市 | 小西健文 |
| 155 | 井上学 | 地域主体のグリーンスローモビリティを活用した観光型交通空白地域有償旅客運送 | 2021年8月 | 日本モビリティ・マネジメント会議 第16回大会、熊本城ホール、熊本市 | 草水清美 |
| 156 | 井上学 | 市民のライフステージに即した市営バスサービスの提供 | 2021年8月 | 日本モビリティ・マネジメント会議 第16回大会、熊本城ホール、熊本市 | 吉岡昇・前田浩成・長田次郎・木村加代子・高橋愛典・毛海千佳子・山室良徳・富久直哉・山崎雄一 |

| 4. 主催したシンポジウム・研究会等 | | | | | |
|--------------------|---|--------------------------|-----------|------------------|---|
| No. | 発表会議名 | 開催場所 | 発表年月 | 来場者数 | 共催機関名 |
| 1 | Digitization of Historical Cities in Egypt and Japan Workshop. ARC-IJAC, Ritsumeikan University | Online | 2021年11月 | 36 | ARC-IJAC, Ritsumeikan University |
| 2 | Geodesign for Sustainable Planning” Seminar | E-JUST | 2022年3月 | 16 | E-JUST, Ritsumeikan University |
| 3 | ゲームスタディーズのフロンティア ドイツ・日本のゲーム文化を巡る言説比較 | 立命館大学衣笠キャンパス | 2021年12月 | 50名 | 山岡財団 |
| 4 | 2021年度 第1回定例研究会:ゲーム研究における理論的研究の位置づけを考える | ZOOM | 2021年6月 | 90名 | |
| 5 | 2021年度 RCGS 第2回定例研究会:シリアスゲームはどのように受容されてきたのか | ZOOM | 2021年10月 | 30名 | |
| 6 | 2021年度 RCGS 第3回定例研究会:ファンタジーを変えたゲームたち——日本におけるゲームの文化的影響に関して—— | ZOOM | 2022年3月 | 20名 | |
| 7 | 2021年度 RCGS 第4回定例研究会:日本のゲームセンターに対する学術的研究の展望と課題—報告者の博士研究を中心に— | ZOOM | 2022年3月 | 30名 | DiGRA Japan |
| 8 | 『『アジア芸術学』の創成』オンライン展覧会めぐりあいアジア—芸術の移動・想像・創成— ギャラリー・トーク | 立命館大学アート・リサーチセンター(オンライン) | 2022年3月6日 | 約30名 | アジア・日本研究所 |
| 9 | The Intl. WS on Advanced Mechatronic Syst. | 立命館大学 | 2021年12月 | 20名 | 東京農工大学 (*発表者 B.LYU: Kuzushiji recognition by deep learning) |
| 10 | 「弥生時代高地性集落の列島の再検証」第3回研究会 | (公財)古代学協会 | 2021年9月 | 40名 | |
| 11 | 「弥生時代高地性集落の列島の再検証」第4回研究会 | (公財)古代学協会 | 2022年3月 | 40名 | |
| 12 | 第126回人文科学とコンピュータ研究会発表会 | オンライン | 2021年6月 | 参加者数不明 発表件数9件 | 主催:情報処理学会人文科学とコンピュータ研究会(幹事) |

| | | | | | |
|----|--|--|-----------------------|-------------------------|---|
| 13 | 第 127 回人文科学とコンピュータ研究会発表会 | オンライン | 2021 年 9 月 | 参加者数不明 発表件数 11 件 | 主催: 情報処理学会人文科学とコンピュータ研究会(幹事) |
| 14 | 人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん 2021」 | オンライン | 2021 年 12 月 | 参加者数 140 名 発表件数 44 件 | 主催: 情報処理学会人文科学とコンピュータ研究会(幹事, プログラム委員, 審査委員会委員長) |
| 15 | 第 128 回人文科学とコンピュータ研究会発表会 | オンライン | 2022 年 2 月 | 参加者数不明 発表件数 14 件 | 主催: 情報処理学会人文科学とコンピュータ研究会(幹事) |
| 16 | 小袖をめぐる言葉と形—西川祐信『正徳ひな形』を読む— | オンライン | 2022 年 3 月 | 97 名 | 国際日本文化研究センター |
| 17 | Green Tea for Peace II, the Japanese Tea Ceremony Workshop | Hebrew University of Jerusalem, Israel | May 20 - June 1, 2021 | 100名 | 東芝国際交流基金 |

| 5. その他研究活動(報道発表や講演会等) | | | | |
|-----------------------|-----------------|---|--|------------------|
| No. | 氏名 | 研究業績名 | 発表場所等 | 研究期間 |
| 1 | 矢野桂司 | デジタル資料からたどる昔と今のまちなみ | 令和3年度景観・まちづくり大学 | 2022年2月(講演会) |
| 2 | 金子貴昭 | 立命館大学アート・リサーチセンター(ARC)の研究実践紹介 | 第2回立命館大学・清華大学国際学術シンポジウム「日中文化交流と人文学の新たな座標」(オンライン開催) | 2021年5月 |
| 3 | 金子貴昭 | Coexisting Rival Books and Publishers: the Case of the Kyoto Guidebooks | 16th International Conference of the European Association for Japanese Studies(オンライン開催) | 2021年8月 |
| 4 | 金子貴昭 | 佐藤章太郎商店の活動と立命館 ARC 所蔵佐藤章太郎商店板の板木・作品 | 浮世絵木版画調習技術保存協会(京都支部)研究会(立命館大学アート・リサーチセンター) | 2022年2月 |
| 5 | 金子貴昭 | 展覧会「めぐりあいアジア—芸術の移動・想像・創成—」 | オンライン開催 | 2022年3月 |
| 6 | 斎藤進也 | 遺品フィルム 立命大がデジタル化 NY で32歳事故死 京都出身写真家・相見明 | 京都新聞、2021年10月21日朝刊7面 | 2021年10月 |
| 7 | 斎藤進也 | 夭折写真家・相見明 眠るフィルム群 大学でデジタル保存 | THE KYOTO(Webジャーナル) https://www.kyoto-np.co.jp/articles/thekyoto/666490 | 2021年10月 |
| 8 | 東野陸 | ARC リサーチスペース駆動の切り札「Kinukake」の紹介 | 紀要 アート・リサーチ vol.22-2 pp.1-3 | 2021年12月~2022年3月 |
| 9 | Mohamed Soliman | Story Map entitled: “Detection and Utilization of the Napoleonic Map of Alexandria to Achieve NSDS, Egypt Vision 2030” | Esri Japan User Conference 2021 | 2021年5月20日~21日 |
| 10 | Mohamed Soliman | Poster presentation: “Urban Change Survey of Medieval Alexandria (Evolution Destinations and Shrinkage Factors Via Remote Sensing and GIS)” | the 34th International Geographical Congress (IGC 2020), Istanbul University, Istanbul, Turkey | 2021年8月 |
| 11 | 細井浩一 | ゲーム展 Ten(仮想空間展示) | SecondLife® SIM「立命館大学アート・リサーチセンター 仮想博物館(ARC/VM)」 | 2018年3月~2022年3月 |
| 12 | 細井浩一 | Ludo-Musica II ゲームのための音楽 / 音楽のためのゲーム | オンライン展示 | 2022年1月~2022年2月 |
| 13 | 斎藤進也 | 遺品フィルム 立命大がデジタル化 NY で32歳事故死 京都出身写真家・相見明 | 京都新聞、2021年10月21日朝刊7面 | 2021年10月21日 |
| 14 | 斎藤進也 | 夭折写真家・相見明 眠るフィルム群 大学でデジタル保存 | THE KYOTO(Webジャーナル) https://www.kyoto-np.co.jp/articles/thekyoto/666490 | 2021年10月1日 |
| 15 | 井上明人 | 社会を考えるためのゲーム | 立命館土曜講座 | 2021年7月 |
| 16 | 井上明人 | 「ゲーム」とは何か | 慶應義塾大学 教養研究センター 実験授業「ゲーム学」 | 2021年10月 |
| 17 | 井上明人 | アルゴリズムを批評するために | 国際大学 GLOCOM 六本木会議 | 2021年10月 |

| | | | | |
|----|------------------|---|---|-------------------|
| 18 | 西林孝浩 | (展覧会評)「美術いま関西で 90:女神ドゥルガーとインド宗教文化—「アジアの女神たち」展」 | 『大阪日日新聞』 | 2021年10月12日 |
| 19 | 西林孝浩 | (オンライン展覧会)「めぐりあいアジア—芸術の移動・想像・創成—」 | https://www.arc.ritsumei.ac.jp/PJ/asia/ | 2022年3月1日～3月31日 |
| 20 | 竹中悠美 | 被災美術品と向き合う 石内都の新作に見る一つのかたち | 大阪日日新聞文化欄9面 | 2021年7月8日 |
| 21 | 竹中悠美 | 展覧会評 美術いま関西で 91:スナップ写真の中のアフガニスタン—中山博喜写真展「水を招く」 | 大阪日日新聞9面 | 2021年10月26日 |
| 22 | 三須祐介 | “大衆演劇 Taishū Engeki”: 日本的“旅芝居 Tabi-shibai”與其大衆性 | 國立成功大学中國文學系 | 2021年10月 |
| 23 | 安宅望 | 文化資源から見たツーリズム ～小型案内記・絵図から見た江戸時代の奈良半日観光 | 立命館大学土曜講座 | 2022年1月 |
| 24 | 松葉涼子 | 【招待】 Copying Edo Landscapes: Osaka Miniature Versions of Hokusai's 36 Views of Mount Fuji | Online Lunchtime Lecture, Chester Beatty Library | 2021年12月2日 |
| 25 | バルクマン アンネグレート | 「コロナ禍は演劇文化に何をもたらしたのか—ドイツと日本の事例」講演会 | 神戸大学 国際文化学研究所, 神戸大学国際文化学研究推進センター (Promis) | 2020年4月～9月 |
| 26 | 細井尚子 | 2021 東亜大衆演劇研究・青年学者論壇「商業と芸術の間」(共催) | オンライン開催 | 2021年7月10日 |
| 27 | 細井尚子 | 2021 東亜大衆演劇国際検討会「移転的大衆演劇—民衆記憶的顕影と体制的重建」(共催) | オンライン開催 | 2021年12月10・11日 |
| 28 | 山口記弘 | 太秦 時代劇の1世紀 記事 | 読売新聞夕刊文化面 毎月第三金曜日計12回掲載 | 2021年4月～2022年3月 |
| 29 | 山口記弘 | 東映行進曲 ブログ | 東映株式会社公式ブログ 毎週火曜日更新 | 2021年7月～2022年3月 |
| 30 | 山口記弘 | 「映画都市・京都」歴史文化観光 講演 | JR西日本主催 ヴィアイン京都駅八条口 | 2022年1月8日、15日、16日 |
| 31 | 山口記弘 | 東映太秦映画村でのデジタルアーカイブ形成方法と利点 講演 | 文化庁 全国映画資料アーカイブサミット2022 | 2022年1月20日 |

| 6. 受賞学術賞 | | | | | |
|----------|---------------------|--|--|--|------------------------|
| No. | 氏名 | 授与機関名 | 受賞名 | タイトル | 受賞年月 |
| 1 | 田中覚 | 日本シミュレーション学会 | Outstanding Presentation Award | ノイズ透明化による3次元計測点群データ高品質可視化 | 2021年5月 |
| 2 | 田中覚 | 日本シミュレーション学会 | [学生の受賞] Student Presentation Award | マルチデータソースを統合したポイントレンダリングに基づく大規模文化遺跡の可視化 | 2021年5月 |
| 3 | 田中覚 | 情報処理学会 | [学生の受賞] 第49回可視化情報シンポジウム・アートコンテスト 金賞 | 不透明度グラデーションを用いた舞鶴赤レンガ倉庫の透視可視化 | 2021年9月 |
| 4 | 前田亮 | International Association of Engineers | Best Student Paper Award of ICCSDE'21 (共著) | Dataset Augmentation for Grammatical Error Correction Using Markov Chain | 2021年7月 |
| 5 | 藤枝 侑夏, 井上 明人, 太田 和彦 | ゲーム学会(GAS)第19回ゲームコンペ | 最優秀賞 | コモンズの悲喜劇 | 2022年3月 |
| 6 | 亀田和子 | Toshiba International Foundation | Research Grant | Imagery of the Orchid Pavilion: Visualizing Tokugawa Cultural Networking | May 21 - June 1, 2020. |

| 7. 科学研究費助成事業 | | | | | | |
|--------------|----|------|------|------|------|----|
| No. | 氏名 | 研究課題 | 研究種目 | 開始年月 | 終了年月 | 役割 |
| | | | | | | |

| | | | | | | |
|----|----------------|--|-------------------------|----------|---------|---------------|
| 1 | THAWONMAS Ruck | 仮想空間を媒介とした日本文化に関する状況学習支援環境に関する総合的研究 | 基盤研究(B) | 2020年4月 | 2025年3月 | 分担 |
| 2 | THAWONMAS Ruck | 健康促進型ライブ配信コンテンツの自動生成機能と観戦者参加向上機能の開発 | 基盤研究(C) | 2019年4月 | 2022年3月 | 代表 |
| 3 | 赤間亮 | 在外絵入版本・浮世絵のイメージデータベースによるカタログリングと研究基盤の構築 | 基盤研究(B) | 2018年4月 | 2022年3月 | 代表 |
| 4 | 佐藤弘隆 | 祭礼存続のストラテジーに関する都市社会地理学的研究 | 若手研究 | 2020年4月 | 2023年3月 | 代表 |
| 5 | 田中覚 | ノイズロバスタな透視可視化に基づく、大規模文化遺跡の3次元計測ビッグデータ活用 | 国際共同研究加速基金(国際共同研究強化)(B) | 2019年10月 | 2023年3月 | 代表 |
| 6 | 東野陸 | 和刻本漢籍のパースペクティブ | 若手 | 2020年4月 | 2023年3月 | 代表 |
| 8 | 矢野桂司 | RSとGISを用いたアレクサンドリアの持続的発展のための考古学的水路システム復原 | 特別研究員奨励費 | 2019年 | 2021年 | 受入研究者 矢野桂司 |
| 9 | 矢野桂司 | 個人のライフコースと地域環境の変化を統合する健康地理学に関する研究 | 基盤研究(A) | 2020年4月 | 2024年3月 | 分担 |
| 10 | 稲葉光行 | 仮想空間を媒介とした日本文化に関する状況学習支援環境に関する総合的研究 | 基盤研究(B) | 2020年4月 | 2025年3月 | 代表 |
| 11 | 加茂瑞穂 | 「図案集」の産業・教育的意義—明治期京都における所蔵状況を中心に | 若手研究 | 2020年4月 | 2024年3月 | 代表 |
| 12 | 加茂瑞穂 | 京都の伝統的美術工芸の近代化に関する総合的研究 | 基盤研究(B) | 2020年4月 | 2023年3月 | 分担 |
| 13 | 河角直美 | 歴史GISによる京都の都市景観復原と地形の居住地選択への影響に関する研究 | 基盤研究(C) | 2020年4月 | 2024年3月 | 代表 |
| 14 | 吉田満梨 | 京都の伝統的美術工芸の近代化に関する総合的研究 | 基盤研究(B) | 2020年4月 | 2022年3月 | 分担 |
| 15 | 金子貴昭 | 本山佛光寺所蔵板木のデジタルアーカイブ構築による板木研究手法の普及 | 基盤研究(C) | 2019年4月 | 2022年3月 | 代表 |
| 16 | 斎藤進也 | インタラクティブCG技術を用いた質的調査法の拡張に関する研究 | 基盤研究(C) | 2020年4月 | 2023年3月 | 代表 |
| 17 | 細井浩一 | 仮想空間を媒介とした日本文化に関する状況学習支援環境に関する総合的研究 | 基盤研究(B) | 2020年4月 | 2025年3月 | 分担 |
| 18 | 三須 祐介 | 中国伝統劇の動態的研究:メディア、流通、民間 | 基盤研究(C) | 2019年4月 | 2022年3月 | 代表 |
| 19 | 山西良典 | 電子書籍における読書状況に応じたストーリー情報呈示システムの開発 | 基盤研究(C) | 2020年4月 | 2023年3月 | 代表 |
| 20 | 山本真紗子 | 京都の伝統的美術工芸の近代化に関する総合的研究 | 基盤研究(B) | 2020年4月 | 2022年3月 | 分担 |
| 21 | 鹿内菜穂 | 伝統芸能ビッグデータ構築による無形文化財の保存・解析・共有手法の開発 | 基盤研究(B) | 2020年4月 | 2024年3月 | 分担 |
| 22 | 常木佳奈 | 口絵デジタルアーカイブ拡充と明治期出版文化研究への活用 | 研究活動スタート支援 | 2020年9月 | 2022年3月 | 代表 |
| 23 | 森岡秀人 | 松帆銅鐸発見を契機とする銅鐸論の再構築 | 基盤研究(B) | 2018年4月 | 2023年3月 | 分担 |
| 24 | 森岡秀人 | 弥生時代高地性集落の列島の再検証 | 基盤研究(B) | 2020年4月 | 2024年3月 | 代表 |
| 25 | 西浦敬信 | 音響空間における次世代スポットエリア再生・集音技術の基盤開発 | 基盤研究(B) | 2019年4月 | 2023年3月 | 代表 |
| 26 | 石上阿希 | 17~18世紀の京都における「知」の大衆化—絵入百科事典を中心として— | 基盤研究(C) | 2018年4月 | 2022年3月 | 代表 |
| 27 | 前田亮 | 日本文化デジタルアーカイブへの多言語統合アクセスの研究 | 基盤研究(C) | 2020年4月 | 2023年3月 | 代表 |
| 28 | 前崎信也 | 京都の伝統的美術工芸の近代化に関する総合的研究 | 基盤研究(B) | 2020年4月 | 2023年3月 | 分担 |
| 29 | 相田愛子 | 日本中世装飾経の材質・技法・様式からみた変遷史観の実証的検討と図像解釈 | 特別研究員奨励費 | 2019年4月 | 2022年7月 | 代表 |
| 30 | 相田敏明 | 圧縮センシングによる超解像の統計力学的解析と拡散方程式逆問題への応用 | 基盤研究(C) | 2020年4月 | 2023年3月 | 代表 |
| 31 | 相田敏明 | 圧縮センシングのための画像辞書への確率分布アプローチ | 基盤研究(C) | 2017年4月 | 2022年3月 | 代表 |
| 32 | 大西秀紀 | ニッポン、ナショナル、日蓄オリエン特各社のディスコグラフィ作成 | 基盤研究(C) | 2017年4月 | 2022年3月 | 代表 |

| | | | | | | |
|----|------|--|-------------------------|----------|---------|-------|
| 33 | 竹中悠美 | 中断された生の残像: 写真の展示における美学と倫理の問題 | 基盤研究(C) | 2017年4月 | 2022年3月 | 代表 |
| 34 | 塚本章宏 | 近代地図の発展過程における伊能図の役割に関する歴史 GIS 研究 | 基盤研究(C) | 2020年4月 | 2023年3月 | 代表 |
| 35 | 田中弘美 | 手掌触覚伝達による手術手技の遠隔 VR 実地訓練基盤構築 | 基盤研究(A) | 2017年4月 | 2022年3月 | 代表 |
| 36 | 飯塚公藤 | 没入型景観を構成する曲線の定式化手法の開発 一人の視覚特性に着目してー | 基盤研究(C) | 2020年4月 | 2023年3月 | 分担 |
| 37 | 福島幸宏 | 公共図書館の多様な活動を評価する統合的指標の開発 | 基盤研究(B) | 2019年4月 | 2023年3月 | 分担 |
| 38 | 並木誠士 | 京都の伝統的美術工芸の近代化に関する総合的研究 | 基盤研究(B) | 2020年4月 | 2022年3月 | 代表 |
| 39 | 本地陽彦 | 塚田嘉信コレクションを起点に初期映画史を読み直す | 基盤研究(C) | 2020年4月 | 2023年3月 | 協力 |
| 40 | 木立雅朗 | 京都の伝統的美術工芸の近代化に関する総合的研究 | 基盤研究(B) | 2020年4月 | 2023年3月 | 分担 |
| 41 | 李亮 | ノイズロバスタな透視可視化に基づく、大規模文化遺跡の3次元計測ビッグデータ活用 | 国際共同研究加速基金(国際共同研究強化)(B) | 2019年10月 | 2023年3月 | 分担 |
| 42 | 李亮 | 時間動的デザインと普遍的な感性の研究 研究課題 | 基盤研究(C) | 2019年4月 | 2022年3月 | 分担 |
| 43 | 田中覚 | 実世界大規模構造物の形状理解のための、3次元計測ビッグデータの超高精細可視化 | 基盤研究(A) | 2021年4月 | 2024年3月 | 研究代表者 |
| 44 | 西浦敬信 | 音像ホログラフィを用いた音響トレイグジスタンス技術の基盤開発 | 基盤研究(B) | 2021年4月 | 2025年3月 | 研究分担者 |
| 45 | 西浦敬信 | 古文書解読熟練者の研究行為から抽出する音声認識電子アーカイブ | 挑戦的研究(萌芽) | 2021年4月 | 2024年3月 | 研究分担者 |
| 46 | 西浦敬信 | 音の身体性が心理情報処理に及ぼす影響の基盤解明とその応用 | 基盤研究(A) | 2021年4月 | 2025年3月 | 研究分担者 |
| 47 | 李亮 | 実世界大規模構造物の形状理解のための、3次元計測ビッグデータの超高精細可視化 | 基盤研究(A) | 2021年4月 | 2024年3月 | 研究分担者 |
| 48 | 細井浩一 | 日本文化資源としてのゲームデータベースのデータ設計と継続的構築に関する研究 | 基盤研究(C) | 2021年4月 | 2024年3月 | 研究代表者 |
| 49 | 斎藤進也 | 昭和期の映画館文化に関するノンフィルム資料アーカイブの構築 | 基盤研究(C) | 2022年4月 | 2026年3月 | 研究分担者 |
| 50 | 鈴木桂子 | 「きもの」文化から見るグローバル・ヒストリー—染色技術・デザイン・製品を中心に— | 基盤研究(C) | 2021年4月 | 2025年3月 | 研究代表者 |
| 51 | 森岡秀人 | 弥生時代高地性集落の列島の再検証 | 基盤研究(B) | 2020年4月 | 2024年3月 | 研究代表者 |
| 52 | 鹿内菜穂 | ヨガによる姿勢、重心、身体動揺の変化に関する研究 | 若手研究 | 2020年4月 | 2023年3月 | 研究代表者 |
| 53 | 鹿内菜穂 | 伝統芸能ビッグデータ構築による無形文化財の保存・解析・共有手法の開発 | 基盤研究(B) | 2020年4月 | 2024年3月 | 研究代表者 |
| 54 | 加茂瑞穂 | 「図案集」の産業・教育的意義—明治期京都における所蔵状況を中心に— | 若手研究 | 2020年4月 | 2024年3月 | 研究代表者 |
| 55 | 加茂瑞穂 | 京都の伝統的美術工芸の近代化に関する総合的研究 | 基盤研究(B) | 2020年4月 | 2023年3月 | 研究分担者 |

| 8. 競争的資金等(科研費を除く) | | | | | | |
|-------------------|------|--|---|---------|---------|-------|
| No. | 氏名 | 研究課題 | 資金制度・研究費名 | 採択年月 | 終了年月 | 役割 |
| 1 | 井上明人 | 「ゲームプレイによる空間認知能力の変容について実証研究」 | 中山隼雄財団 助成研究 (B) | 2022年3月 | 2023年2月 | 研究代表者 |
| 2 | 赤間亮 | 「Digital Database and Visualization of Borobudur Maritime Landscape and Japan-Indonesia Maritime Connection」 | 文部科学省 国際共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ国際研究拠点」 | 2021年4月 | 2022年3月 | 研究代表者 |
| 3 | 鈴木桂子 | 「京都を起点とした染色技術及びデザインのグローバルな展開に関する研究」 | 文部科学省 国際共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ国際研究拠点」 | 2021年4月 | 2022年3月 | 研究分担者 |

| | | | | | | |
|---|------|--|--|---------|---------|-------|
| 4 | 鈴木桂子 | グローバル・ヒストリーにおけるオランダのテキスタイル—貿易・デザイン・労働の総合接続、1600-2000 | 研究高度化推進制度 研究成果国際発信プログラム | 2020年4月 | 2022年3月 | 研究代表者 |
| 5 | 松葉涼子 | To research one of the greatest treasures of the Sainsbury Centre at the University of East Anglia, a very rare statue of a Shinto deity, possibly one of the wives of Shotoku Taishi, through a new Anglo-Japanese new research network | Daiwa Foundation Award | 2021年5月 | 2023年8月 | 研究代表者 |
| 6 | 細井尚子 | 「東アジア文化圏」研究基盤の構築—娯楽市場における「大衆」「演劇」「大衆演劇」から— | 立教大学学術推進特別重点資金(立教SFR)共同プロジェクト研究 | 2018年4月 | 2021年3月 | 研究代表者 |
| | 森岡秀人 | 全国高地性集落に関するデジタル資料化およびデータベース化プロジェクト | 立命館大学アート・リサーチセンター 日本文化資源デジタル・アーカイブ国際共同研究拠点 | 2021年4月 | 2022年3月 | 研究代表者 |

9. 知的財産権

| No. | 氏名 | 名称 | 出願人区分 | 発明人区分 | 出願番号 | 公開番号 | 登録(特許)番号 | 国 |
|-----|------|--------|-------|-------|------|------|----------|----|
| 1 | 立命太朗 | 特許(国内) | 本人単独 | 筆頭発明者 | **** | **** | **** | 日本 |